国際ロータリー第2660地区

2009－2010年度

地区大会記録

開催日

第1日　2010年2月26日(金)
リーガロイヤルホテル

第2日　2010年2月27日(土)
大阪国際会議場

ホストクラブ　：　大阪西南ロータリークラブ

目　次

■大会プログラム……2

■第1日

開会挨拶　大会委員長　丹羽健二……4
ガバナー挨拶　RI第2660地区2009–2010ガバナー　大谷　透……5
RI会長代理挨拶　RI会長代理　ビチャイ・ラタクル……6
オープニングセッション
　オープニングセッション1（会長幹事懇談会）
　　大会決議案上程承認　決議委員長　パストガバナー　宮田宏章……8
　　講演「危機における決断～戦国武将に学ぶ～」 作家　津本　陽……9
　オープニングセッション2
　　講演「勝者の思考法」 スポーツジャーナリスト　二宮清純……11
　オープニングセッション3
　　講演「笑いの処方箋～笑いと長寿の科学～」
　　「日本笑い学会」副会長/「元気で長生き研究所」所長　産婦人科医　昇　幹夫……13
　　講演「落語で笑って健康・長寿」 落語家　笑福亭松喬……15
大会スナップ……17
会員家族の集い「イルカ・アコースティックライブ」……18
顕彰昼食会……18
ウエルカムセレモニー……19
RI会長代理歓迎晩餐会……20

■第2日

本会議
　開会挨拶　大会委員長　丹羽健二……21
　来賓祝辞　大阪府知事　橋下　徹……22
　　大阪市長　平松邦夫……23
　ガバナー挨拶・地区現況報告
　　RI第2660地区2009–2010ガバナー　大谷　透……24
　RI会長代理挨拶・RI現況報告　RI会長代理　ビチャイ・ラタクル……29
　米山奨学生学友ホームカミング報告　米山学友　金　守基……（詳細はDVDをご覧下さい）
　信任状委員会報告　信任状委員会委員長　パストガバナー　岩田宙造……（詳細はDVDをご覧下さい）
　選挙委員会報告　選挙委員会委員長　パストガバナー　神崎　茂……（詳細はDVDをご覧下さい）
　大会決議案上程　決議委員会委員長　パストガバナー　宮田宏章……（詳細はDVDをご覧下さい）
　大会決議案採択　ガバナー　大谷　透……（詳細はDVDをご覧下さい）
　記念講演『資本主義はなぜ自壊したのか「日本」再生への提言』 中谷　巌……36
　ガバナーエレクト紹介挨拶　ガバナー・エレクト　松本新太郎……（詳細はDVDをご覧下さい）
　ガバナーノミニー紹介挨拶　ガバナー・ノミニー　岡部泰艦……（詳細はDVDをご覧下さい）
　次年度ホストクラブ発表　ガバナー　大谷　透……（詳細はDVDをご覧下さい）
　次年度ホストクラブ会長挨拶　八尾RC会長　坂本憲治……（詳細はDVDをご覧下さい）
　RI会長代理講評　RI会長代理　ビチャイ・ラタクル……（詳細はDVDをご覧下さい）
　閉会挨拶　大会実行副委員長　品川　潔……（詳細はDVDをご覧下さい）

■資料

来賓・地区関係……40
新世代グループ……41
表彰……42
出席クラブ……45
物故会員……46
大会役員・大会委員会……47
大会実行委員会……48
収支報告……49

大会プログラム（第1日）

総合受付

12:00〜16:30
リーガロイヤルホテル　タワーウイング3階

友愛の広場

リーガロイヤルホテル　タワーウイング3階　ラウンジ
12:00〜18:00
・地区委員会による活動内容の展示
・ドリンクサービス（コーヒー）

オープニングセッション1（会長幹事懇談会）

リーガロイヤルホテル　タワーウイング2階　桐の間
12:30 開場
13:00 開会
開会挨拶　ガバナー　大谷　透
大会決議案上程承認 大会決議委員長／パストガバナー　宮田　宏章
講演　作家　津本　陽氏
「危機における決断〜戦国武将に学ぶ〜」
14:30 閉会

オープニングセッション2

リーガロイヤルホテル　ウエストウイング2階　菊の間
12:30 開場
13:00 開会
講演　スポーツジャーナリスト　二宮　清純氏
「勝者の思考法」
14:30 閉会

オープニングセッション3

リーガロイヤルホテル　タワーウイング2階　桂の間
12:30 開場
13:00 開会
講演
「日本笑い学会」副会長／「元気で長生き研究所」所長　産婦人科医　昇　幹夫氏
「笑いの処方箋〜笑いと長寿の科学」
講演・落語　落語家　笑福亭松喬師
「落語で笑って健康・長寿」
14:30 閉会

ウエルカムセレモニー

リーガロイヤルホテル　タワーウイング3階　光琳の間
14:30 開場
15:00 開会
開会点鐘　ガバナー　大谷　透
国歌・ロータリーソング斉唱
開会挨拶　大会委員長　丹羽　健二
RI会長代理ならびに来賓紹介　ガバナー　大谷　透
ガバナー挨拶　ガバナー　大谷　透
RI会長代理挨拶　RI会長代理　ビチャイ・ラタクル
閉会点鐘　ガバナー　大谷　透
15:50 閉会

イルカ・アコースティックライブ

リーガロイヤルホテル　タワーウイング3階　ロイヤルホール
15:50 開場
16:20 開演
「イルカ・アコースティックライブ」
17:30 閉演

RI会長代理歓迎晩餐会

リーガロイヤルホテル　タワーウイング3階　光琳の間
17:00 登録受付
18:00 開会
RI会長代理ならびに来賓紹介
ガバナー挨拶　ガバナー　大谷　透
RI会長代理挨拶　RI会長代理　ビチャイ・ラタクル
乾杯　RI理事エレクト　近藤　雅臣
お食事・ご歓談
歓迎催し　関西二期会トリプルカルテット
「想い出の映画音楽」
閉会挨拶　ホストクラブ会長　藤本　和茂
ロータリーソング「手に手つないで」
20:30 閉会

大会プログラム（第2日）

友愛の広場

大阪国際会議場　5階　ホワイエ

12:00～17:00

・地区委員会による活動内容の展示

・ドリンクサービス

本会議

大阪国際会議場　5階　メインホール

11:00 登録受付

12:30 ウェルカム演奏

相愛大学ストリングオーケストラ

12:40 開会

RI会長代理入場

開会点鐘　ガバナー　大谷　透

国歌斉唱

タイ王国国歌斉唱

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

開会挨拶　大会委員長　丹羽　健二

RI会長代理紹介　ガバナー　大谷　透

来賓及びパスト・ガバナー紹介

ガバナー　大谷　透

来賓祝辞　大阪市長　平松　邦夫

参加クラブ紹介

新世代グループ紹介

ローターアクトクラブ

インターアクトクラブ

ロータリー財団国際親善奨学生・PSC

GSE派遣団員・GSEアルムニ

青少年交換学生・ROTEX

米山奨学生・米山学友会

チームライラ

物故会員に黙祷

ガバナー挨拶・地区現況報告

ガバナー　大谷　透

RI会長代理挨拶・RI現況報告

RI会長代理　ビチャイ・ラタクル

表彰

米山奨学生　学友ホームカミング報告

米山学友　金　守基

信任状委員会報告

信任状委員会委員長／パスト・ガバナー　岩田　宙造

選挙委員会報告

選挙委員会委員長／パスト・ガバナー　神崎　茂

大会決議案上程

決議委員会委員長／パスト・ガバナー　宮田　宏章

大会決議案採択　ガバナー　大谷　透

休憩

15:30 記念講演　中谷　巌氏

『資本主義はなぜ自壊したのか

～「日本」再生への提言』

ガバナー・エレクト紹介挨拶

ガバナー・エレクト　松本新太郎

ガバナー・ノミニー紹介挨拶

ガバナー・ノミニー　岡部　泰鑑

次年度ホストクラブ発表ガバナー　大谷　透

次年度ホストクラブ会長挨拶

八尾RC会長　坂本　憲治

国際大会PR

RI会長代理講評

RI会長代理　ビチャイ・ラタクル

記念品贈呈

閉会挨拶　大会副委員長　品川　潔

17:20 閉会点鐘

開会挨拶

大会委員長

丹羽　健二

ご来賓の皆様、参加各クラブ会員並びにご家族の皆様、国際ロータリー第2660地区2009～2010年度地区大会にご参加いただき、まことに有難うございます。RI会長代理として、2002～2003年度RI会長をつとめられましたビチャイ・ラタクル様をお迎えし、大勢の皆様方とともに地区大会を開催できますことを心から嬉しく思っております。

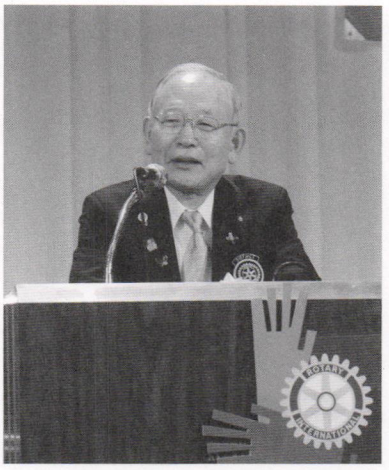
さて、ロータリーの活動の原点は親睦であります。大会初日の本日は、ご参加の会員の皆様方の交流親睦を図っていただくことを目的として、私ども大阪西南ロータリークラブの例会場であります当リーガロイヤルホテルに於いて、ご家族連れで楽しんでいただける幾つかのプログラムを準備させていただきました。先程終了いたしましたオープニングセッションにおきましては、それぞれ異なる3つのテーマによる講演をお聞きいただきましたし、この式典の後はお隣のロイヤルホールで、フォーク・シンガー“イルカ”さんのライブコンサートをお楽しみいただきたいと思います。

そして、そのあと、ここ光琳の間におきまして、RI会長代理を歓迎する晩餐会を開催いたします。ここでは、関西二期会の皆様によります懐かしい映画音楽の数々をお楽しみいただきます。

さて、地区大会のもう一つの大きな目的は、ロータリーに関する情報の交換とロータリーの展開している大きな奉仕の輪につきましてご理解いただく場としていただくことかと思います。これが大谷ガバナーが揚げておられます「ロータリーを身につけよう」というテーマを実践することにつながると考える訳でありますが、この後のご挨拶あるいは明日の本会議でのご挨拶・現況報告で、RI会長代理と大谷ガバナー合わせまして1時間20分という充分な時間を設けておりますので、ご静聴いただくことによりましてロータリーに関する理解を深めていただければと考えております。ビチャイ・ラタクル会長代理は英語でスピーチをされますが、幸い時間的余裕をもって原稿を頂戴いたしましたので、お手許のプログラムに日本語訳を掲載させていただいております。ご参考にしていただければと存じます。

なお、お隣のラウンジルームに当地区の地区委員会の皆様のご協力を得まして、友愛の広場を設けておりますので、ご覧いただければ幸いでございます。私ども実行委員会では、全力を上げて準備を進めてまいりましたが、何かと不行き届きな点、お目だるい点もあろうかと思いますが、有意義で楽しい大会にするべく皆様方のご協力をお願い申し上げまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

ガバナー挨拶



国際ロータリー第2660地区
2009－2010年度　ガバナー
大谷　透

本年度の地区大会は、RI会長代理として2002－03年RI会長ビチャイ・ラタクル氏をお迎えし、また 国外・地区内外のご来賓、会員、ご家族の皆様方多数のご参加を得まして、開催する事ができました。ご参加いただきました皆様方に心から感謝し、歓迎申し上げます。

本年度、ジョン・ケニーRI会長はテーマを「The future of Rotary is in your hands：ロータリーの未来はあなたの手の中に」とされ、ロータリーの未来を我々一人ひとりの手に託されました。その信頼に応えるために、私は ロータリーの中核をなす価値観（Core Value）を身に付ける必要を感じ、当地区のテーマを「ロータリーを身に付けよう」としました。

今回、RI会長代理としてご来臨の栄を賜った元RI会長のビチャイ・ラタクル氏は「Saw the seeds of love：慈愛の種を播きましょう」をテーマとし、Core Valueの中の「奉仕」と「寛容」を強調して、リーダーシップを発揮された敬愛すべきRI会長のお一人です。メッセージを聴き、人柄に触れて、ロータリーを身に付けて下さい。

ロータリアンの地区大会への出席は、例会やIMへの出席と同様に強く推奨されています。誘い合って、用意されたプログラムを楽しんで下さい。

経済不況の煽りをうけて会員減少が見られる日本のロータリーは、今こそ創設の原点である「友情」と「高潔さ」を基礎に据え、信念と勇気をもって振起しなければなりません。1905年にシカゴで4人の友情から始まり、世界的大恐慌を乗り越えて、世界的な組織にまで成長したロータリーは、今 時代の流れの中で変革が求められています。何をどのように変革し、何を変えてはならないかを見分ける叡智。「資本主義はなぜ自壊したのか」の著書で卓見を示された中谷巌氏の講演も示唆にとみ、心に響くことでしょう。

本大会にて親睦を深め、ロータリーの輪を広げてください。ロータリーの未来を引き継ぐあなた一人ひとりの手にロータリーの未来はあるのです。

最後に、本大会の企画・運営に携わって頂いた大会実行委員長・委員会の皆様と、ご協力頂いたホストクラブの皆様に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

ＲＩ会長代理挨拶

会長代理

ビチャイ・ラタクル

大谷透ガバナー、そしてロータリアンの皆さん

本日、このすばらしい第2660地区大会に、国際ロータリークラブ会長の代理として出席させていただくことを非常に光栄に思います。ありがとうございます。

この場をお借りし、大会のオープニングとなるこのセレモニーにお集まりいただいた皆様方に歓迎の意を表します。

私は今まで何度か日本に来たことがあり、多くの友人が大阪や日本各地にいます。この来日では、更に多くの友人ができることと、皆様からロータリーについて多くのことを学ぶことを期待しております。

実は、この来日の前に、大谷ガバナーの指示により、4名のロータリアン役員がわざわざ私のバンコクの自宅まで来てくださり、大谷ガバナーが私をこの大会に招待したいという旨があることをお伝えいただきました。大谷ガバナーのこのようなご厚意に心から感謝申し上げます。

ですから、大阪に着いた時、自分の故郷に帰ってきたような気分になりました。このような素晴らしい機会を頂戴し、本当にありがとうございます。

地区大会の初日の今日は、非常に重要な意味を持ちます。大谷ガバナーと共に、皆さんは第2660地区の指導者の中心人物であります。

この大会は、地区のロータリアン同士の親睦を深め、ロータリーのフェローシップを共有するために開催されるものです。ここにお集まりの皆さんは実に様々な価値観をお持ちです。そのためロータリーの精神は多彩で多様性があります。それがロータリーの特徴の一つでもあります。それゆえ、この地区の潤滑な運営に携わって頂いている皆様方に、心から敬意を表したいと思います。

この地区は、大谷ガバナーのもと、85のクラブがあり、4,000人以上の有能なロータリアンが様々な活動を行っておられます。大谷ガバナーに至っては、超我の奉仕の理想を推進するため大変尽力されていらっしゃいます。これらの活動は国際ロータリーも認識しております。

私は大谷ガバナーの友人であることを誇りに思います。また第2660地区の指導者の皆さんと親密な交流があることも誇りに思っております。

ロータリー年度が始まった8ヶ月前、新しいクラブ会長、クラブ幹事、ガバナー補佐、地区委員長が就任され、その日のことは皆が鮮明に覚えていると思います。しかし過ぎ去った日々には二度と後戻りはできません。しかし、ロータリーの世界では、皆様は常に進行形です。皆様は、所属するクラブや地域で、ロータリーの指導者として、常にコミュニティや国に奉仕することによって存在し、決して終わりがありません。

指導者とは、本質的な奉仕を行う人であり、それゆえ人々がついて行きます。皆様はそのような方々なのです。

指導者が特定の個人やグループにために行動をする場合、専制的になります。しかし、ロータリー設立の精神に基づき行動をすれば、発展的で創造的なものになります。それは未来なのです！生きているのです！

皆様には、ロータリーが設立された目的を履行する義務があります。

ロータリー年度が変わろうと、私たちロータリアンは進んでゆくのです！

それぞれのクラブは国際ロータリーのユニットとして存在していますが、どこでどのように活動を行うかは各クラブの方針に任せられています。

この点で、次の4月に開催される規定審議会において、日本のロータリークラブが、RIの運営の基本的原則は「各ロータリークラブの自主性」ということをご提案されることをお伺いし、大変喜ばしく思います。

人々と同様に、それぞれのロータリークラブは異なり、ロータリアンも異なります。しかし、追求する理想は同じで、私たちが関わった何百万人の人生を豊かに

ＲＩ会長代理挨拶

するということです。

皆様は、これまで、障害者支援、医療サービス、環境保全、RYLA・青少年プログラム、GSE、WCSなど様々な活動を通し、大変多くの人々に接して来られました。

ロータリーの未来は、エバンストンのロータリー本部で作られるものではありません。それぞれのロータリアン、それぞれのクラブで、私たちの手で作るものであることを忘れてはなりません。

ですので、皆様は、他への押し付けではなく、自らがお手本となるよう努力し、クラブに最善の奉仕とは何かを導くようにしなければなりません。

今期のロータリー年度も残すところ4ヶ月となりましたが、ガバナーや、指導者だけではなく、次世代を担う若い人々も含め、ロータリアン全員は残された4ヶ月を無駄に過ごさず、支援が必要とされる人に対し活動を継続していかねばなりません。

ところで、私の話になりますが、私は1958年、32歳の時にロータリーに偶然勧められました。私がこのクラブに設立会員として参加すると決めた時、私と崇高な理想を共有した84歳の老紳士が「ロータリーの未来は若い世代の手の中にある」ことを確認し、安堵したと言いました。

私自身、自分が家族を持つまではその言葉を真剣に受け止めませんでした。ロータリーの一部になることとは？またロータリーの未来にどのように貢献できるのだろうか？など想像できませんでした。しかし、52年の年月を経てそのときの老紳士の年齢に達した今、あなた方を見ていたらその言葉が鮮明に蘇ってくるのです。

今までに様々なことが起こり、至る所に変化が見られます。変化は避けられず、必要不可欠なものです。しかし良い方向に変化していく必要があります。

私たちは、ロータリーを通して、未来をより良いものに変えることができるでしょうか？

私たちはロータリアンとして、1人の人生でも変えることができますか？

おそらく、心に人道的な人生観がなければ、答えは「No」でしょう。

ここの会場には、山登りが好きな人もいれば、そうでない人もいるでしょう。しかし、金剛山は、日本で最も有名で美しい山の一つで、大阪の人々は大変誇りに思っていることは間違いないと存じます。

その金剛山に曇りや霧の日に登ったとしましょう。山頂の展望台から眺める平野や湖はぼんやりし、どこにいるのかわからなくなるでしょう。

それが霧のない晴れた日なら、豊かな平野や美しい大阪湾、そしてはるかかなた関西国際空港まで望むことができます。その時、自分が自然の一部であり、全てが一体化した完璧な光景を心に描くことができるでしょう。そして視界に広がる景色に対し、自分の見解を持つことができるのです。

まさに、ロータリーはそれと同じなのです！

私たちは、専門職務と事業に携わる集団であります。

男女関係なく、皆が豊かな職歴や経歴を持っています。

それゆえ、私たちの責任は大きくなります。

私たちは、それぞれの職務を通し、世界で起こっている様々な出来事を見る機会が多くあります。霧や偏見を排除せず物事を見る場合、私たちは自分たちの存在を正当化することができず、行き場を失ってしまいます。私たち一人一人が心の中のあらゆる偏見を取り除いた時のみ、本当の奉仕の精神が芽生えます。地球のために、そして愛する私たちの仲間のために奉仕するのです。

今大会の最初のセッションは重要で、私たちが直面する様々な変化や問題に対し考え、何を行うべきかを徹底的に話し合います。

私たちは、組織の大きさを再確認したり、過去の業績を称えたりするためにこの大会に集まったのではありません。

私たちは「慈愛の種を播く」ためにここにいるのです！

また、会員同士が寛容さを持ち、友情を深めるためでもあります。

私たちは心の広さを求めています。大谷ガバナーの言葉ですが、何かをし始めても、すぐには何も起こりません。実はおろか、小さな芽さえ生えません。当分、そのプロセスに満足することは出来ないしょう。しかし、最終的に必ず芽は出てきます。調和の産物を見たとき誰もが感激することでしょう。

私たちが慈愛の種を播き続けることは、私たち自身の中で寛容の芸術を形成することと同じです。

私たちは将来を見据えつつ、各コミュニティでそれぞれの職業を代表するリーダーとして今ここにいます。私たちは、より良い変化を求める人々のために存在しているのです。なぜならば、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるからです。

その人々の求めに答えることは私たちにとって非常に良い機会であります。なぜならば、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるからです。

もしかして10年かかっても、その求めに答えることができないかもしれません。

しかし、私たちは同じ道を歩き始めました。崇高な任務を遂行するための旅に一緒に出発するのです。

今の私は、前述のロータリーの精神を共有し確信を抱いた老紳士と同じく、かつてない希望を持っています。

皆様方の何をなすべきかという真剣な姿を見れば、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あることを私も確信できます。

私たちは、目的を達成することができます。そして成功を収めるでしょう！

大会決議案上程承認

決議委員長　パストガバナー
宮田　宏章

本会議での大会決議案上程について提案の上、満場一致で承認を得ました。大会決議案は下記の通りです。

◆決議第1号

●国際ロータリー会長代理ビチャイ･ラタクル氏に対する感謝の件

国際ロータリー会長代理ビチャイ･ラタクル氏は国際ロータリー会長ジョン・ケニー氏の代理として公私ご多忙の中、タイ国バンコク市より本大会にご臨席賜り、「The Future Of Rotary Is In Your Hands ～ロータリーの未来はあなたの手の中に」のRIテーマを推進するために、参加者全員へ豊富な情報と格調高い感銘を受けるメッセージを頂きましたことは、このうえない幸せであります。よって本大会は国際ロータリー会長代理ビチャイ･ラタクル氏に対し、深甚なる謝意を表すことを決議致します。

◆決議第2号

●国際ロータリー第2660地区直前ガバナー横山守雄氏に対する感謝の件

直前ガバナー横山守雄氏は、国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」のもと「他への思いやりの心、他への助け合いの心」というロータリーの心を尊び、奉仕の理想を広められました。又CLP・DLPのクラブ改革、地区改革をより一層推進され、卓越したリーダーシップを発揮されましたことに対して、深甚なる感謝の念を捧げることを決議致します。

◆決議第3号

●2008～09年度の収支決算（監査報告付）を承認する件

本大会は国際ロータリー第2660地区2008–09年度の収支決算（監査報告付）を承認することを決議致します。

◆決議第4号

●国際ロータリー理事エレクト近藤雅臣氏を支援する件

国際ロータリー理事エレクト近藤雅臣氏は、2010–11年度より2年間大変ご多忙の中、日本人理事として国際ロータリーの諸問題解決の為ご尽力されます。当地区より国際ロータリー理事が輩出されますことは、地区ロータリアン全員にとっても名誉なことであり、今後のご活躍に対し地区をあげて支援することを決議致します。

◆決議第5号

●ロータリー研究会開催を支援する件

2010–11年度、ロータリー研究会が2010年11月26日・27日の2日間にわたり、大阪国際会議場にて開催されますが、内外より多数のRI元・現ならびに次期役員をはじめとするロータリアンが集うこの会合が成功裏に開かれるよう、地区を挙げて支援することを決議致します。

◆決議第6号

●国際ロータリー2009～10年度国際大会への参加を推進する件

本年度の国際大会は2010年6月20日より4日間、カナダ国モントリオール市にて開催されます。当地区のロータリアンおよび家族の国際大会への参加を推進することを決議致します。

◆決議第7号

●次年度地区大会開催に関する件

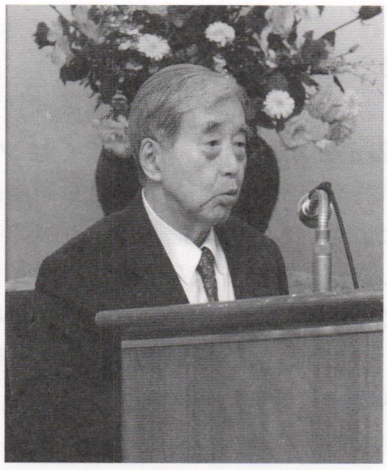
国際ロータリー第2660地区2010-11年度の地区大会は、八尾ロータリークラブをホストクラブとし、2010年10月29日・30日 大阪市において開催することを決議致します。

◆決議第8号

●本大会のホストクラブ並びに協力団体に対する感謝の件

国際ロータリー第2660地区2009–10年度の地区大会が地区内外から多数のロータリアンとその家族の参加のもと、見事な運営により素晴らしい地区大会となり成果を収められました。大会に尽力頂きましたホストクラブの大阪西南ロータリークラブ実行委員会 丹羽健二委員長はじめ実行委員会の皆様、会員並びにご家族、更には諸団体の皆様の献身的な奉仕と協力に深甚なる謝意を表することを決議致します。

オープニングセッション1



「危機における決断 ～戦国武将に学ぶ～」

作家

津本　陽

「昨年から腰を悪くし、足の不自由がございまして…」とゆっくり壇上に現れた津本陽さん。その独特の穏やかな語り口で、厳しい戦国の世に生きる武将のお話を聞かせて下さいました。

命を賭けて戦う戦国武将

戦国武将というのはいつでも命がけで戦っています。

ある実業家の方とお話していた時のことです。事業を起こすというのも大変に厳しい世界で、私の小説の参考になることも多い。彼と私の出会いは、私がある週刊誌に書いた小説がきっかけです。なんと私の書いたその小説が、今まさに自殺しようとしていた彼の目に止まり、その週の週刊誌に掲載されていたある場面を読んで、首を吊るのをやめたというのです。それは一体どんな場面であったのか、ずっと知らずにいたのですが、つい先日教えてもらうことができました。私の想像していた場面とは、全く違いましたが、なるほどと思いました。

伊達政宗が1000人の兵を率い、豊臣秀吉にあることを直訴に行った場面です。話し合うもまとまらず、秀吉はついに「ここまで来たら仕方がない」と呟きます。交渉決裂。若い政宗はその言葉を聞き、全員斬り死にする覚悟で戦う決意をし、兵を率いて暴れだしました。それを見た前田利家ら家臣たちが、「こんな京都のど真ん中で、わざわざ伊達家と争うことはない」と秀吉に説教してくれたそうです。これにより、政宗は命拾いをし、彼の要求も受け入れてくれることになりました。

お金の工面が付かず、自殺しようとしていた彼は、この場面を読んで「最後にもう一度金融機関に話をしてみよう」と思い踏みとどまったそうです。戦国武将の強かさや根太さが、彼を救ったようです。このように戦国武将たちは、一方的に破滅させられる人間が取るべき最高の手段を指南してくれています。

猜疑心と攻撃性の固まり　織田信長

これまで、たくさんの戦国武将の小説を書いてきましたが、中でも一番印象が深いのが織田信長です。彼は、常に周りに対して強い猜疑心と攻撃性を持っていました。これは、本人にとって非常に不幸なことです。成功者の歓びを感じることもなく、死ぬまで心が休まる時がなかったと思うんです。

彼は幼い頃から様々な経験を積む中で、自分の想像を上回る周囲の裏切りを受けてきました。常に裏切りと陰謀の中で生きてきたのです。自分の身を守るために、相手を疑い、攻撃する。その一方で、自殺行為としか思えないような戦いを５回も行っている。あまりにも強い猜疑心と攻撃性を持ち続けた結果「もう死んでしまってもいい」と思ってしまったんじゃないでしょうか？信長は決して冷静な人ではない。狂気と自滅性を孕んだ大変におかしな人なんです。

その一方で、戦いに挑む前には相手を調べに調べ、情報を非常に大切にしていました。

そして偽の情報を流し、自分に都合のいい場所におびき寄せ、相手をあっという間にやっつけてしま

オープニングセッション1

う。情報第一、「戦いの勝敗は、戦場において決するのが三割、戦場へ出る前に七割が決している」とも言っています。

死を恐れない狂気と情報戦の制覇。これが信長が天下統一出来た所以なのかもしれません。

人と人との心を繋ぐ　豊臣秀吉

豊臣秀吉は、40歳すぎまでは本当に天才でしたね。ありとあらゆることを一人で成し遂げました。出自が草莽であったから、急に富と権力を手に入れて、随分早くボケてしまったようですが…。秀吉の最期はボケていた、これは江戸時代から言われていることなんです。子どもが生まれたあたりから、どんどんおかしくなって、自分で自分の首を締めるようなことばかりしています。

秀吉の辞世の句は「露と落ち 露と消えにし 我が身かな 浪速のことは 夢のまた夢」ですね。あれは、非常にいい辞世であるという人と、非常にみみっちいという人がいます。例えば、上杉謙信の辞世の句は「四十九年 一睡の夢 一期の栄華 一盃の酒」ですから、同じ戦国武将でも、随分と違うものです。

彼が、賤ヶ岳の戦いまでに行ったこと。それは、とにかく人と人とを和合させることです。先に裏で話を作ってしまうんです。信長は、人を疑ってばかりでしたから、そういう面では秀吉は非常に優れた人でした。

No.2であれ　徳川家の家訓

徳川家康は、祖父も父も家来に殺されています。歴史ある徳川家では、代々「No. 1になってはいけない。No.1になると、追い落とされるだけだ。No.2になれ。No.2になって、親分の急所をつかめ」。そんな家訓があったそうです。

家康は、幼い頃に人質となり、時には今川に虐げられたり、と様々な苦労をしています。そして時の恨みをずっと覚えている人でした。そうして苦労を重ね、彼は、段々と地位を固めて行きました。

家康の最大の特徴は、「危ない時には動かない」ということです。情勢が分かるまでは、絶対に動かない。とにかく安全に事を進める。そういう性格の人でした。そして、最期の最期まで、物凄く計算高かった。だからこそ、徳川家は長期安定政権を築くことができたのだろうと思います。

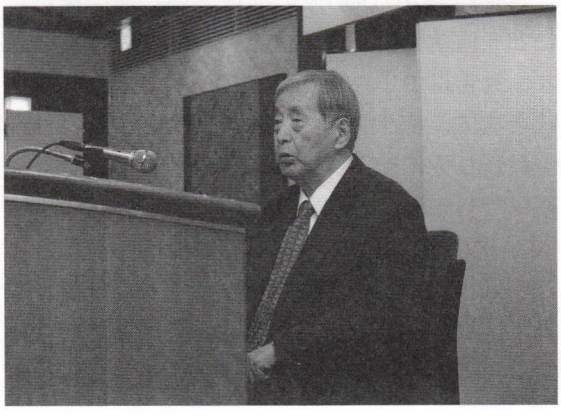
戦国武将の決断から学ぶ　生き抜くヒント

三人の武将を見ていますと、やはり家康は一番しぶとかったと思いますね。信長は、乱世の中で力を発揮しましたが、精神を病んで苦しみながら一生を終えたのではないでしょうか？秀吉も、最初は天才でしたが、後にボケてしまいました。人は時に、富と権力を手にすると変わってしまうのかもしれません。

冒頭にもお話しましたが、伊達政宗が命を賭けて秀吉の前で暴れたとき、秀吉は家来に説得されて、政宗を許しました。しかし、斬り死にする覚悟で暴れる政宗を見て、秀吉もきっとびびってしまったと思うんです。だからこそ、政宗は命拾いをしたのです。そんなこともあるんですね。なんだか、そんな話を聞いていると、昔が羨ましいような、そんな気分にもなってきます。

長期に渡り不況が続く世の中、危機における戦国武将の決断は、きっとこの世を生き抜くヒントになると思います。

次々に出てくる戦国武将たちの逸話。時には厳しく力強く、時にはユーモアを交えながら、熱のこもった語り口でぐいぐいと聴衆を引き込んでいかれました。馴染み深い戦国武将たちの話も、津本さんから聞くと、より人間味溢れ、命を賭けて戦う戦国武将の姿に勇気をもらった講演でした。



オープニングセッション2

「勝者の思考法」

スポーツジャーナリスト
二宮　清純

講演の時間中に女子フィギアーフリーの競技が行われる予定で、講師の二宮氏も関心が強く、競技の結果の報告を受けることになっているとのことでした。途中での結果発表はすでにご存じのように残念な結果ではありました。

二宮氏はソウルオリンピックの取材で、100m背泳の鈴木大地選手の奇跡の金メダルに感動したと言います。鈴木選手は３コース、４コースに予選で世界新を出しているアメリカのバーコフ選手で、彼はバサロ泳法で30mもぐります。そして５コースには元世界新保持者の当時のソ連のポリャンスキー選手。鈴木選手は本来は25m付近で浮いてくるのが、おぼれたのかとの声が出たほどで、30mまでもぐったのです。これによって隣のコースのバーコフ選手の泳ぎが乱れ、さらに５コースの選手にも波及。バーコフ選手は元来精神面が弱いと見越した秘策だったようです。もうひとつはゴールにいかに早くタッチするかということで、爪を3〜4ｃｍ伸ばしていたということもあったそうです。

秘策はこの決勝レースだけではなく、鈴木大地選手の準備は1年前から進んでいました。その『準備力』が大したものだということです。何をしたのか？

1年前にオリンピックプールへ行き、その距離感を確かめ、水温をチェック、そしてプールの水も飲んだそうです。水を飲んで下痢をおこす選手がいるので、その対応に怠りなかったということです。勝つには運も必要だが、運をつかむ能力が必要、それは『準備力』だと強調されました。

このような『準備力』の差を見せつけたのが、女子ソフトボールの優勝と星野ジャパンの野球だったと言います。ソフトボールの選手はナイトゲームでもサングラスをつけていたそうです。理由はライトがまぶしすぎるということです。このライトにあたっても消えないサングラスを特注したそうです。予選でのエラーがあったため、決勝トーナメントでは必ずサングラスをつけるように監督から指示がなされたということです。一方の野球ではサングラスは帽子の上に乗せていて、レフトの落球が勝敗を分けた事実からも、いかに状況を把握し、対応を準備し、実践させることが大事かを示しているということです。

次に強調したいこととして挙げられたのが、Skill＜Willです。紹介されたのは、メジャーリーガーの先駆者・野茂英雄です。彼のonly oneの技術はトルネードであり、フォークボールです。甲子園を夢見ていたが、強豪校のセレクションにも落ち、予選では完全試合もしたが、認められることなく、新日鐵堺へ入りました。球速はあるが、コントロールが悪く、フォームの矯正を指導されたが、トルネードにこだわり、さらに新しくフォークボールの開発に取り組みました。その理由たるや、人間の目は横に二つ並んでいるから、縦の変化は見づらいので、フォークボールがよいということだったようです。フォークボールは手首を曲げないで投げるので、そ

オープニングセッション2

のうちに打者に見破られ、振ってくれなくなり、今度は回転を加えたフォークボールを考案したそうです。ドジャースのピアッツア捕手はキュルキュルと音をたてて落ちてくる、ナイアガラの滝のようだと表現したそうです。

このようにSkillを上げることは必要ですが、Will、強い意志を持つことの方が大事だと強調されました。

イチロー選手も同様で、振り子打法をやめろと指導されたが、頑として聞き入れなかったと言います。マック鈴木選手は英語が話せないとイジメにあったそうですが、忠告を受けた野茂選手は、英語を覚えにアメリカへ来たのではないと。東洋の魔女といわれたバレーボールの選手も、柔道場で受身の練習をし、回転レシーブを身につけたとのことです。他にも村山投手のザトペック投法、王選手の一本足打法、清水選手のロケットスタート、荒川選手のイナバウアー、山下飛びや月面宙返り等々すべてonly oneです。

先の鈴木大地選手の秘策を生み出したのは、水泳選手としては大成していないスイミングスクールの教師でしたが、勝つリーダーと負けるリーダーの違いについて言及されました。負けるリーダーは「人事を尽くして天命を待つ」と言い、無責任極まりないと言える。勝つリーダーは「人事を尽くして天命をもぎとる」と言うと。まさに『準備力』です。鈴木選手の爪を長くしたように。負けるのはツメが甘い、と。

勝つリーダーには、リスクを取る『勇気』、決めたことは実行する『決断』、どうするかという『知恵』が伴っており、最悪の状態で最高のカードが切れる人であり、追い込まれたときに、役者であり、演出家であり、さらに心理学者であり得る人だと。

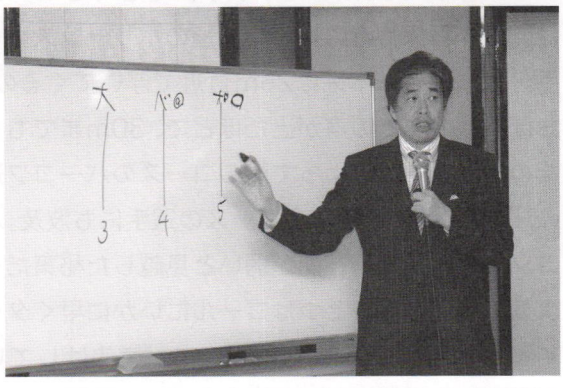
元日本ハムのスカウト部長であった三沢氏が後悔していることは、イチロー選手を取り損なったことだという。ドラフト３位にしようとしたが、幹部からクレームが付き５位指名になり、４位指名のオリックスに取られる羽目になった。その後、新庄選手を日本ハムが獲得、北海道に多くの観客を呼び込むようになったが、当初役員からはダメと言われたとのことです。ここから『判断よりも決断』ということがいかに大切かということが分かると。

最後に、イタリアサッカーの指導者の著書を読んでいると、『il bello dorso』という言葉があり、良きリーダーたらんとするものは美しい背中をもて、というような意味で、子供は親の背中を、生徒は先生の、選手はコーチ・監督の、部下は上司の、それぞれ顔ではなく、背中を見ている。

今回の講演の中に出てきたキーワードがあります。

『準備力』
『Skill＜Will』
『人事を尽くして天命をもぎ取る』
『勇気・決断・知恵』
『判断よりも決断』
『il bello dorso』

これらはすべてスポーツを通して語られましたが、企業の経営などいろんな分野にも当てはまることだなと感じました。



オープニングセッション３

「笑いの処方箋 ～笑いと長寿の科学～」

「日本笑い学会」副会長／「元気で長生き研究所」所長
産婦人科医
昇　幹夫

温かな拍手に迎えられ登場した、昇幹夫氏と笑福亭松喬師。まずは、昇幹夫氏による笑いと健康の理論のお話から。映像や資料を使い、時にはジョークも挟みながら、笑い声あふれる講演となりました。

お腹の中でも笑う赤ちゃん

私は今でも毎月10人ほどの赤ちゃんを取り上げるんですけども、最新の機器を使うとお腹の中の赤ちゃんの表情まで撮れるんです。お母さんの機嫌がいい時は赤ちゃんも笑っています。

妊娠５ヶ月から、お腹の中の赤ちゃんは外の音が全部聞こえます。一番よく聞こえる音は、心臓の鼓動です。だから生まれた後、お母さんは赤ちゃんを心臓の側に抱くことが多いんです。その方が落ち着くんですね。

心臓の音は、英語でビート。ビートにはもうひとつ意味があります。太鼓の音という意味です。世界中にある太鼓のルーツは心臓の音なんです。だから、太鼓の音を聞くと自然と体が動くんですね。それは、お腹の中で１０ヶ月間聞き続けた音だからなんです。

胎内記憶と誕生の記憶

２～４歳の子供に胎内の記憶を聞くと、３人に１人は答えてくれます。実に色々なことを言いますよ。「お母さんが冷たい物ばかり飲んでたから、とっても寒かった」「お母さんが煙草を吸ってたから、とっても苦しかった」、あるいは両親が結婚式でケーキ入刀する様子を見ていた、なんて子供もいます。今から８年ほど前、横浜の産婦人科医である池上明先生が、このことを学会で発表し、大反響を呼びました。

「子供には胎内記憶がある」。これを知っているかどうかで、これからの出産・子育てが大きく違ってくると思いますよ。

笑って糖尿病治療！

今から20年ほど前、笑いと病についてのある治験が行われました。がん患者の方に吉本新喜劇を見て大笑いしてもらい、その前後で血液検査を行ったのです。すると、笑った後の方が、がん細胞やインフルエンザウイルスをやっつけるNK（ナチュラルキラー）細胞が活性化していました。

特に笑いが効くのが糖尿病です。2003年には、筑波大学の村上和雄先生が中心となり、こんな治験が行われました。まず19名の糖尿病の患者に500キロカロリーのお寿司を食べてもらい、そして１時間糖尿病の講義を聞いてもらった後に血糖値を測る。全員の平均値は123mg/dlでした。次の日、同じお寿司を食べてもらい、今度は１時間漫才を見てもらいました。すると平均値は77 mg/dlまで下がったのです。それも、たくさん笑った人ほど、たくさん下がりました。

これまで、糖尿病治療と言うと、カロリー制限や運動など辛いことばかりでしたが、笑いのある生活

オープニングセッション3

をすることで、糖尿病の治療になることが、科学的に証明されたのです。

長生きの秘訣は心地よく生きること

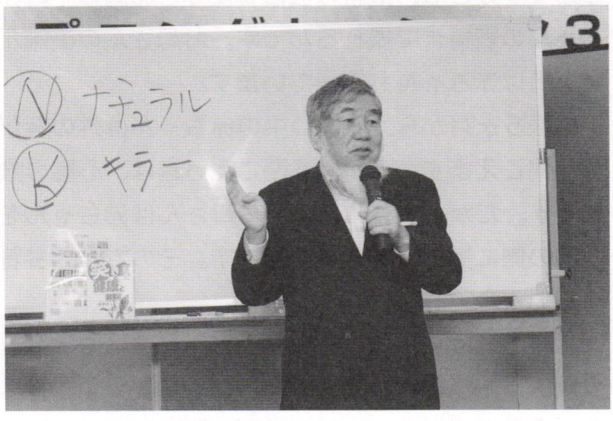
人間の身体は60兆個の細胞で出来ています。そして日々新しい細胞に生まれ変わっています。絶対に生まれ変わらないのが、歯と心臓。そのかわり、歯と心臓にはガンは出来ません。新しく生まれてくる細胞の出来損ないがガンなのです。新しい細胞が生まれるのは、睡眠中。だから、寝る時間まで削って無理をしている人は、ガンになる可能性が高いんです。健康な人でも体の中でガン細胞が毎日5000個も作られています。そしてそれを処理しているのがNK細胞です。いつまでもNK細胞を活発にするには、

⑴笑う
⑵泣く
⑶人に話を聞いてもらう
⑷お華粧。（華やかに粧って"華齢"を生きる）
⑸楽しく歌う
⑹睡眠を十分取る
⑺体を冷やさない

以上のことが、非常に大切です。

病院で、薬で健康を得るのではなく、自分で原因を見つめ直し、心地良く生きることが、長生きの秘訣です。医者は、病気のことは知っていますが、健康法のことなんか知らないですからね。

最後に、しいのみ学園園長の舁地三郎先生の紹介映像が流れました。103歳になった現在も毎日精力的に講演活動などを行い、健康そのもの。「大切なのはまず笑顔」と舁地先生。まさに、今日の講義の内容を裏付けるお話でした。



オープニングセッション3

「落語で笑って健康・長寿」

落語家

笑福亭　松喬

楽しい理論の話の後は、笑福亭松喬さんによる「落語で笑って健康・長寿」の講演です。今回は、落語を演じるのではなく、他では聞けない落語の世界のお話をしてくださいました。

落語のはじまり　上方と江戸の違い

落語というのは、簡単に言いますと、お坊さんのお説教から始まりました。理想と言われているのが、江戸時代の浄土宗の僧・安楽庵策伝のお説教です。今でも『醒睡笑』という書物として残っています。ところが、説教というのは、聞く人からお金を取れない。そのうちに京都で露の五郎兵衛という説教の上手なお坊さんが、僧侶を辞めて、入場料をもらって話を聞かせるようになりました。その後、米沢彦八という人が、大阪の生玉神社の境内で、床几を据えて噺を始めました。この米沢彦八が、上方落語の祖と言われています。それが、徐々に江戸にも伝わっていったんです。

大阪は漫才で、落語は江戸。そう思っている方が多いかもしれませんが、歴史を紐とけば、落語は上方から始まったんです。だから江戸落語の７割は上方落語を移したものなんですよ。

落語のええとこ　師匠と弟子の関係

江戸・上方と共通する、落語の良いところ。それは師匠と弟子の間で、お金のやりとりが一切ないというところです。何年経っても、弟子がいくら儲けても、師匠にお金を渡すことはありません。だから落語家の師匠は大変なんです。（笑）

落語の世界では、師匠の言うことは絶対です。入門してすぐ師匠は私に「カラスは白」と教えました。だから私はずっと「カラスは白」と言ってきました。ところが半年後、師匠が道で黒いカラスを指さして「お前はカラスは白、と言うけどこれは黒いやないか」と聞くんです。「師匠が白と言ったから」これでは、落語家としてやっていけないんです。落語家になるんやったら、こじつけでもなんでもいいから、相手がカラスは白いと納得するような噺をできなあかん。師匠は、そんなことを教えてくれたわけです。

なんとも個性的な落語家の師匠たち

落語の稽古の仕方は師匠によって違いますが、どの師匠も紙に書いて教えることはしません。私の師匠は、いつも２回だけお手本をみせてくれました。２回聞いたら「やってみ」。頭がいいわけでもないので、２回でなんか覚えられるはずもありません。でも必死になったら、何とか覚えられるもんなんですね。米朝師匠は、５回ぐらい見せてくれるそうです。でも、きっちり覚えなあかん。うちの師匠は、２回しか見せんかわりに「だいたいでええ」と言ってくれました。「それが笑福亭や」と。（笑）

笑福亭一門は、すぐに入門出来ます。でも、師匠がちょっとでも向いてないと思ったらすぐ「やめ！向いてないことが分かっただけでもええやろ」。辞めた後、父の会社を継いで成功した人もいます。そ

オープニングセッション3

の成功の影には、師匠から教わった話術があるわけで。辞めたからあかん、落語が無駄になった、という訳やありません。むしろ続けてても悲惨なやつもいっぱいいます。(笑)

弟子を見抜く師匠の力

私は、播州から落語が好きというだけで、師匠に弟子入りしたので播州訛りを直すのに苦労しました。師匠には、毎日怒られましたが、絶対に辞めないと決めていました。それでも辛い時もありました。そんな時に、助けてくれたのが師匠の奥さんです。奥さんは、よく電話で私を励ましてくれました。今までになくきつく怒った日、師匠は奥さんにこっそり「松喬に“お前を一人前にしたいから怒ってん”って電話しといてくれ」と言ってくれたそうです。また翌日同じように怒るんですがね…。(笑)

師匠は、弟子の性格を見抜いて、その弟子に合わせて稽古をつけてくれている。そんな師匠の心を知ったとき、「この人に一生ついて行こう」と決めました。鶴瓶なんか、師匠にいっぺんも落語の稽古してもらってないのに、「今日の自分があるのは師匠のおかげです」って言いますからね。(笑) 師匠は、鶴瓶が落語やなくておもろい噺をしたいんや、と見抜いてたんですね。

その後も、師匠が紫綬褒章を受章した時の裏話や、師匠と仁鶴さんとのお金に纏わる話まで、次々と出てくる抱腹絶倒のエピソード。松喬さんは、講演の最後にそんな師匠や落語に対する思いを語られました。

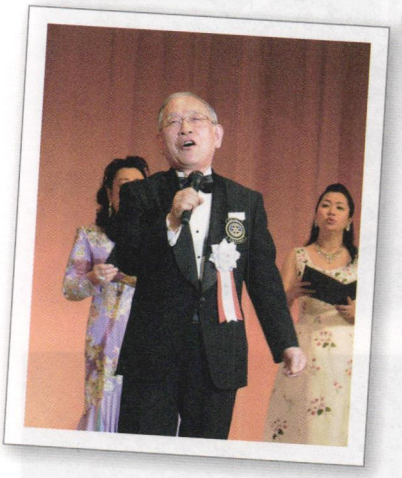
連綿と続く落語の世界を守る

私も今は6人の弟子を抱えています。こうして師匠から継承した沢山の素晴らしいものを、わたしも次の弟子へと繋いでいきたいです。噺を聞くと、絵が浮かぶ、そんな古典落語が出来る弟子を一人でも多く育てたいですね。それで、みなさんに笑っていただいて、健康になってもらって、そして大阪を元気にできればと思っております。…なんて、大層なことはそんなに思ってないんですけど。(笑) これからも、一人でも多くの人に落語を楽しんでもらえたら、と思っております。

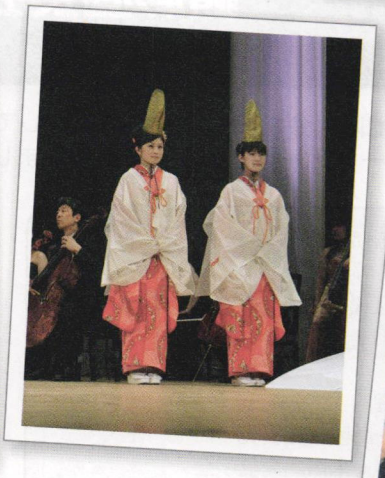
最後もきっちり笑いで締めてくれた松喬さん。何ともはちゃめちゃで愛のある師匠とのエピソードに、会場からは幾度となく大きな笑いが巻き起こり、心も身体もすっかり健康になった、90分でした。

大会スナップ

国際ロータリー 第2660地区 2009-2010年度 地区大会
ウェルカムセレモニー
大谷 透

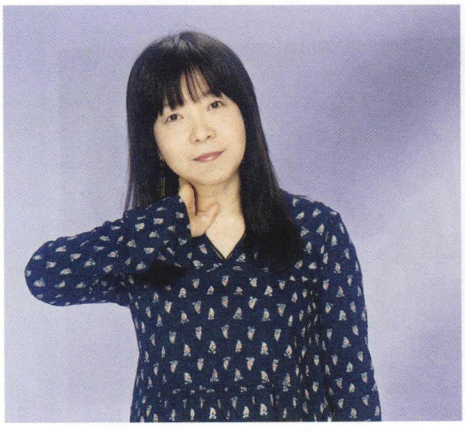


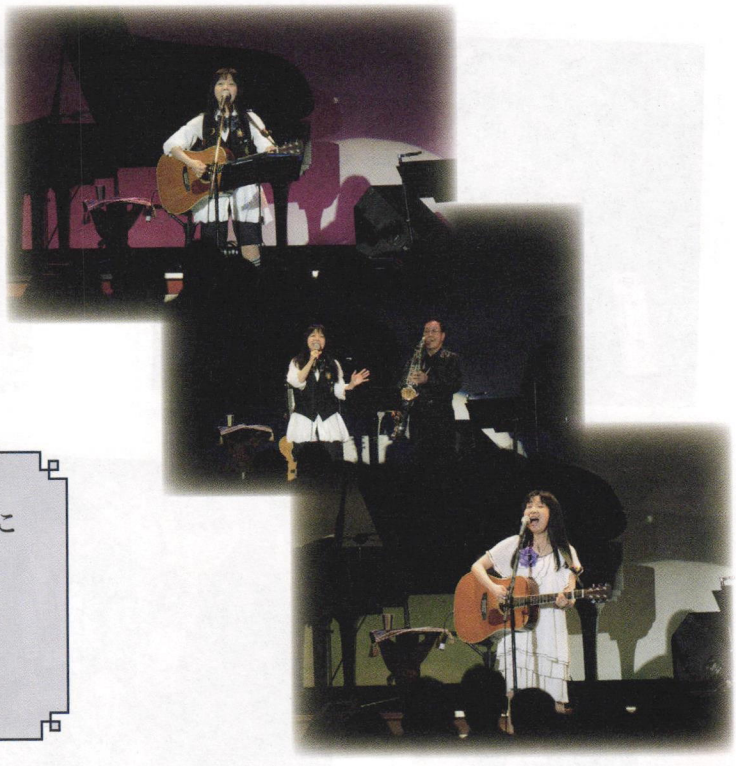
大阪箕面ロータリークラブ



国際ロータリー第2660地区
2009-2010年度 地区大会

イルカ・アコースティックライブ





1. 私の幸せ
2. 雨の物語
3. なごり雪
4. 私の青空
5. ANY KEY OK!!
6. 真冬の天使
7. まあるいいのち〜チェイサー

EC1. 光の扉
EC2. はんぶんこ

顕彰昼食会

国際ロータリー第2660地区　地区大会における初の試みとして、わが地区ロータリアンのうち、ロータリー財団及び米山記念奨学会メジャードナーをご招待して開催しました。

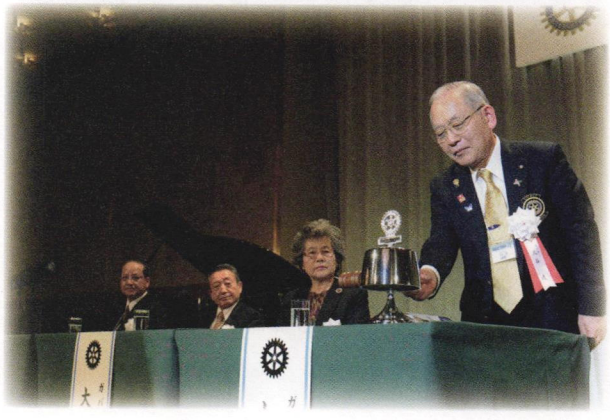
2010年2月26日(金)　リーガロイヤルホテルダイヤモンドルーム

11：00	受付	
11：30	開会	司会：地区代表幹事　四宮　孝郎
	開会挨拶	ガバナー　大谷　透
	食事・歓談	
	挨拶	RI会長代理　ビチャイ・ラタクル
	挨拶	ロータリー財団管理委員　田中　作次
	挨拶	(財)ロータリー米山記念奨学会 理事長　板橋　敏雄
12：30	閉会	

ウェルカムセレモニー

国際ロータリー 第2660地区 2009-2010年度 地区大会
ウェルカムセレモニー

国際ロータリー 第2660地区 2009-2010年度 地区大会
ウェルカムセレモニー



2660地区 2009-2010年度 地区大会
ムセレモニー

国際ロータリー 第2660地区 2009-2010年度 地区大会
ウェルカムセレモニー
丹羽健二
大谷玲子
大谷透

ＲＩ会長代理歓迎晩餐会

開会挨拶

大会委員長

丹羽　健二

平松大阪市長はじめ、ご来賓の皆様、参加各クラブ会員並びにご家族の皆様、並びに新世代グループの皆様、国際ロータリー第2660地区　2009～2010年度地区大会にご参加いただき、まことに有難うございます。RI会長代理として、2002～2003年度RI会長をつとめられましたビチャイ・ラタクル様をお迎えし、盛大に地区大会を開催できますことを心から嬉しく思っております。

大会第1日目の昨日は、ロータリー活動の原点であります会員相互の交流親睦に焦点を合わせ、ご家族ともども幾つかのプログラムをお楽しみいただけたことかと思います。

本日2日目は、ジョン・ケニーRI会長のご方針に基づき大谷ガバナーが揚げられました「ロータリーを身につけよう」のテーマにふさわしい本会議を開催させていただきます。

ロータリーの奉仕の精神の原点やロータリーの活動のあるべき姿につきまして、ビチャイ・ラタクルRI会長代理や大谷ガバナーより充分に時間を取ってお話しいただく予定をいたしておりますので、ご静聴いただきたいと思います。RI会長代理は英語でスピーチされますが、幸い時間的余裕をもって原稿を頂戴いたしましたので、日本語訳をお手許のプログラムに掲載させていただきました。ロータリーに関する理解を深めていただくご参考にしていただければ幸いでございます。

本会議の進行にあたりましては、先程ご案内のありましたとおり、相愛大学ストリングオーケストラの皆様ならびに今宮戎神社福娘の皆様のご協力をいただいております。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、休憩をはさみましては、記念講演といたしまして、中谷巌先生に「資本主義はなぜ自壊したのか」のテーマでご講演いただきます。先生は、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社の理事長をはじめ数多くの要職に就いておられます。我が国および世界の現状や先行きの見通しにつきまして、適確な分析や示唆に富んだお話しをお聞かせいただけるものと期待しております。

当ホールロビーの部分におきまして、昨日同様、当地区の地区委員会の活動に関します展示コーナーを設けておりますので、休憩時間の折にでもご覧いただければ幸いでございます。

昨日に引き続きまして、本日第2日目も皆様方のご協力によりまして、有意義で楽しい大会となりますようお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、まことに有難うございました。

来賓祝辞

大阪府知事

橋下　徹

国際ロータリー第2660地区2009－2010年度地区大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。また皆様には、日ごろから大阪府政の推進に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

国際ロータリー第2660地区の皆様におかれましては、長きにわたり豊かな地域社会づくりに寄与してこられました。青少年の健全育成や国際親善活動など、幅広い分野で活発な活動を展開されており、皆様の熱意と真摯な取組みに深く敬意を表します。

2009－2010 年度は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに、更なる飛躍を目指して精力的に活動を展開されています。

地域社会の絆を結ぶ皆様のご活動が多くの共感を得て、さらに広まっていくことを期待申し上げます。

さて、これからの自治体には、国から自立し、自らの責任で地域経営を行うという強い意志を持って行動していくことが求められています。私は、大阪・関西を再び輝かせるためには、都市圏から関西国際空港へのアクセス向上や税・経済特区の創設など、国から自立した地域経営の視点で次の一手を打っていく必要があると考えています。

大阪を再び輝かせるため、全力で取り組んでまいりますので、国際ロータリー第2660地区の皆様には、今後とも大阪府政へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、国際ロータリー第2660地区のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

来賓祝辞

大阪市長

平松　邦夫

国際ロータリー第2660地区2009－2010年度地区大会が、盛大に開催されますことをお喜び申しあげますとともに、皆様方には、平素から大阪市政の各般にわたり格別のご支援、ご協力を賜り、心から厚くお礼を申しあげます。

皆様方には、崇高なロータリアンの精神に基づき、会員相互の友情と親睦を深められるとともに、多年にわたり地域社会の発展と福祉の増進をめざして幅広い活動を展開され、国際的な相互理解と友好親善の進展に大きく貢献しておられます。

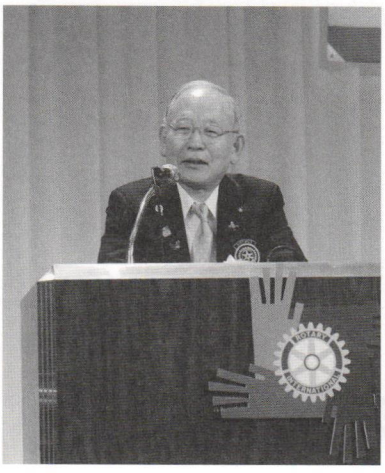
近年、急速な国際化、高度情報化の進展や少子高齢化の進行など社会経済情勢が大きく変動しており、ロータリークラブの皆様方が果たされる役割はますます大きくなっております。

このような中、皆様方が地域社会の繁栄と人々の平安を願う活動のさらなる進展をめざして、本大会を開催されますことは誠に心強い限りであり、大谷ガバナー、丹羽地区大会委員長をはじめ、開催に力を尽くされました皆様方に、改めて深く敬意を表する次第であります。

大阪市では、現在、「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」をキーワードに、市民の皆さんとの協働による暮らしやすいまちづくりや、次代を担う子どもたちの育成支援、大阪ならではの魅力の創出と発信など、様々な施策を進めております。今後とも、市民や企業、各団体の皆様方と一緒になって、もっと元気でもっと輝く大阪の実現に力を尽くしてまいりますので、皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

本大会が実り多いものとなりますよう、また、国際ロータリー第2660地区のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。

ガバナー挨拶・地区現況報告



国際ロータリー第2660地区
2009－2010年度　ガバナー
大谷　透

本年度の我々の地区大会に、RI会長代理として2002－3年度にRIの会長をなさいましたビチャイ・ラタクル氏をお迎えする事ができて、当地区の会員にとりましては この上ない喜びでございます。

ビチャイ・ラタクル元会長は「Saw the seeds of love：慈愛の種を播きましょう」をテーマとし、ロータリーのCore Valueの中の「奉仕」と「寛容」を強調して、リーダーシップを発揮された最も敬愛されているRI会長のお一人でございます。

Loveが慈愛と邦訳されましたので、恵まれない人びとのために、心をこめて奉仕しましょうと慈善行為の面のみ強調されていましたが、しかし、ビチャイ・ラタクル会長は「人々の心にも愛の種を播きましょう」という注釈もしておられたのです。“愛の種を人の心に播く”場合、絶えず 赦しという行為が伴います。これはガバナー公式訪問の際、多くのクラブで、ガバナー・メッセージとして述べた事ですが、Love is art of forgiveness。愛とは赦しのアート、即ち赦しの芸術だと云う名言があります。アートとはサイエンスに相対する言葉で、一人ひとり、人によって心への響き方が異なります。

クラブの中に 友情溢れる仲の良い友人が居ると、退会者は少なくなります。そうなる秘訣は クラブ内で気分を悪くする事に出逢っても、それを赦すことです。自分への償いは不問に付し、償いを求めずに、自分の気分を害した相手を赦す事を優先するのです。芸術的に赦すのです。それが「愛の種を**相手の心に**播く」ことなのです。　その時点では、表面的には何の変化も起こりません。種を播いても直ぐには芽も出ないし、実もならないように、そんな（赦すような）事をしたって、すぐには自分の気持がおさまる様な結果は出ないのです。しかし、やがて芽を出し,育ち,立派な和らぎ睦みの実を結ぶようになるのです。愛の種、即ち 赦しのアートの種を互いの心に播きましょう。そうすると仲良しの質が良くなり、会員増強には必ず役に立ちます。　ガバナー訪問では、ビチャイ・ラタクル会長のテーマを借用し、このようにして会員増強のための激励を行ってまいりました。

さて、ガバナーの地区現況報告でございますが、クラブ数や会員数推移の現況、女性会員の割合、世界と日本との年代別の比較、アメリカと日本における現役と引退した者の割合などは、プログラムに頁を割いて図表で示しておきましたのでご覧下さい。本日は、せっかくの機会ですので、ビチャイ・ラタクル会長代理に出来るだけ多くの時間を取っていただくために、二つの特筆すべきことだけを述べて地区の現況報告と ガバナーメッセージに替えさせていただきます。

①大阪東淀RCと大阪ちゃやまちRCのクラブ統合式が 昨年10月24日にラマダホテルで行われました。クラブ名は**大阪東淀ちゃやまちRC**としてIM第６組所属となります。これで 当地区のクラブ数は86から85となりました。いろいろな思い入れはありましたが、いたずらに会員の質を落として 増強に走らずに、ロータ

ガバナー挨拶・地区現況報告

リーの目的に沿って より健全で効果的なクラブを作るべく、大局的な見地から、統合への英断を下されましたことに、心から敬意を表する次第でございます。クラブの適正サイズを維持するために、会員の質を大切にする事を考慮に入れて、クラブの統合・合併を考慮する事も選択肢の一つでございます。

更に、会員維持のための方法の一つとして、功績のあったシルバーパワーを更に長く活用して頂くため、会費はRIや地区の分担金＋アルファーと云ったような格安の、特別会員制度を各クラブで検討して見てはどうかと思っております。この図からはアメリカにおいては、現役からリタイアしても、ロータリーライフを 生き生きとEnjoy しているロータリアンが多いことが一目瞭然です。高齢化社会にあっては考慮すべき大切な事だと思われます。

②当地区では初めて吹田江坂RCの提唱により、関西大学に大学RACが誕生したことです。歴史ある有名な大学にできたRACです。その歴史に傷を付ける事の無いように、提唱クラブのみでなく、先輩RACの皆様方、その提唱クラブの皆様方も心に留めてご指導をよろしくお願いいたします。

今年度のジョン・ケニー会長のテーマは「The Future of Rotary is in your hands：ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。未来を託された私たちが、その信頼に応えるためには、ロータリーのCore Valueを身に付ける必要を感じ、私は地区のテーマを「ロータリーを身に付けよう」としました。そしてこれを掛け声だけに終わらせないために、各クラブで綱領に相当する平易な夫々のクラブに合った目標文を作成して、月に1度 例会で唱和することを推奨しました。多くのクラブが協力的に反応して下さいました。

新会員への研修委員会の設置もお願いいたしました。ご協力頂きましたクラブには 改めて感謝を申し上げます。　研修という言葉には少し抵抗があり、「学び」のほうが適切な言葉だと思っております。私は昨年11月、伊勢の地区大会で、小泉元首相からいい言葉を学んで来ました。

少而学　壮而有為 壮而学　老而不衰 老而学　死而不朽 （三学戒　佐藤一斎）

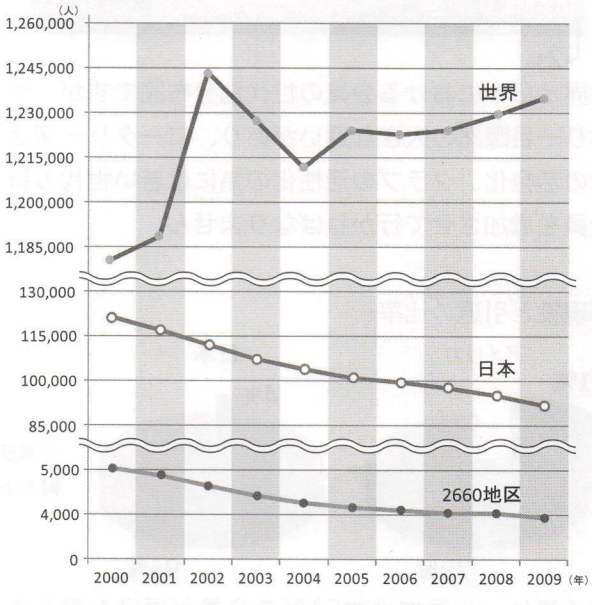
少にして学べば
壮にして為すことあり
壮にして学べば 老いて衰えず
老いて学べば　死して朽ちず

解りやすく解説すれば次のような意味です。
人は　少（わか）くして学ぶ楽しさが身に付けば、壮年になった時、社会の役に立つ人物となる。　壮年になって学ぶ意欲が心の底から湧き出せば、老いても日々の人生が充実し、周囲を明るくするものだ。

老いて学ぶ人は、今までの人生経験に輝きが増し、後世の人々に大きな目標・理想の炎を燃やし続けさせる人物となる。

ロータリアンの中には、ロータリーを生涯学ぶことによってロータリーを身に付け、この格言を実践されているロータリアンを多く見かけます。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」……。

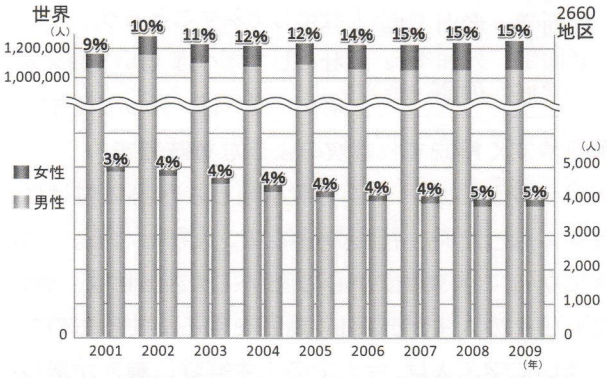
■会員数の推移



全世界では会員数が若干増えていますが、インドをはじめとする新興国での増加が米国・日本等における減少を補っている状況です。

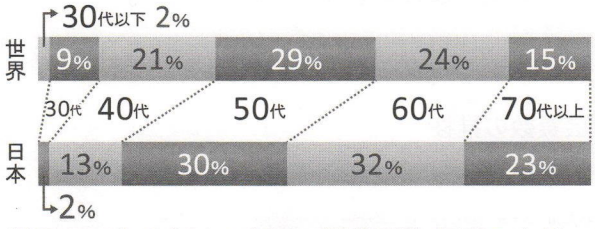
ガバナー挨拶・地区現況報告

■女性会員の比率



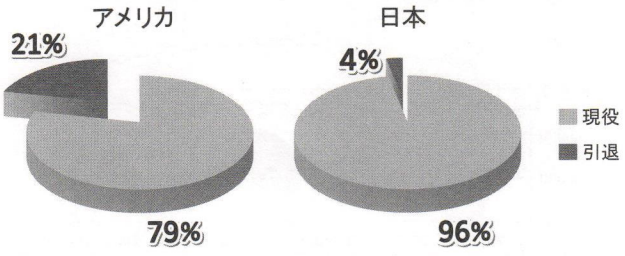
世界と第2660地区における女性会員の比率を見てみるとそこには大きな差があり、今後の会員増強の有力な方策として、女性会員の獲得が一層重要視されます。

■会員の世代別分布



世界と日本における会員の世代別分布図ですが、やはり一目瞭然の大きな違いがあり、ロータリー諸活動の活発化、クラブの活性化の為には若い世代の新会員を増加させて行かねばなりません。

■現役と引退の比率



驚く事に、米国では約21％の会員が現役を引退されてロータリー活動を続けられています。日本では今後益々高齢化社会が進む中、現役を引退されても会員として継続できる制度の検討も必要ではないでしょうか。

ガバナー挨拶・地区現況報告

■クラブ会員数の推移

( )内女性会員数

IM	クラブ名	クラブ年数	00−01	01−02	02−03	03−04	04−05	05−06	06−07	07−08	08−09	09−10
第1組	池田	56	46(3)	42(3)	42(3)	38(2)	37(2)	41(2)	41(2)	39(2)	39(2)	38(2)
	池田くれは	26	43(2)	46(2)	43(2)	42(2)	42(2)	44(2)	45(2)	44(1)	41(1)	40(1)
	箕面	40	30(0)	36(1)	34(1)	34(1)	33(0)	32(0)	33(0)	33(0)	34(1)	29(1)
	箕面中央	30	41(0)	40(0)	38(0)	37(0)	36(0)	35(0)	32(0)	32(0)	30(0)	24(0)
	豊中	51	51(0)	51(0)	48(1)	46(1)	44(1)	45(1)	44(2)	46(2)	47(1)	47(2)
	豊中南	41	47(0)	39(0)	41(1)	39(1)	39(1)	37(1)	36(1)	40(1)	45(1)	40(1)
	豊中ー大阪国際空港	38	34(0)	34(0)	28(0)	29(0)	29(0)	29(0)	24(0)	21(0)	19(0)	22(0)
	豊中千里	24	39(2)	41(3)	38(3)	37(3)	36(3)	36(3)	38(3)	40(4)	39(4)	38(3)
第2組	茨木	50	49(1)	43(1)	38(1)	33(1)	29(1)	30(2)	28(3)	26(2)	25(2)	26(2)
	茨木東	36	44(3)	43(3)	45(4)	44(4)	45(4)	45(4)	47(4)	48(3)	43(2)	46(3)
	茨木西	16	44(8)	39(7)	37(8)	36(7)	32(6)	33(6)	33(5)	32(6)	29(6)	27(6)
	千里	37	58(0)	56(0)	50(0)	50(0)	51(0)	49(0)	48(0)	45(0)	45(0)	48(0)
	千里メイプル	11	31(1)	30(2)	29(2)	25(1)	24(1)	24(1)	24(2)	28(2)	28(3)	27(3)
	摂津	39	47(0)	41(0)	42(0)	38(0)	35(0)	35(0)	36(0)	36(0)	39(0)	40(2)
	吹田	51	76(4)	75(4)	75(4)	69(4)	68(4)	68(5)	70(5)	68(5)	63(6)	64(6)
	吹田江坂	19	46(2)	46(2)	44(2)	48(2)	44(3)	44(3)	43(3)	42(3)	40(3)	42(0)
	吹田西	30	61(0)	61(0)	57(0)	55(0)	50(0)	48(0)	50(0)	50(0)	49(0)	49(1)
	高槻	56	70(2)	62(2)	55(2)	56(2)	55(2)	47(2)	48(2)	48(3)	49(3)	49(3)
	高槻東	37	47(0)	45(0)	45(0)	46(0)	46(0)	46(0)	44(0)	43(0)	42(0)	42(0)
	高槻西	21	41(0)	36(0)	33(0)	32(0)	32(0)	31(0)	29(0)	29(0)	29(0)	26(0)
第3組	大東	42	70(0)	67(0)	68(0)	62(0)	55(0)	53(0)	50(0)	50(0)	50(0)	48(0)
	大東中央	14	33(11)	29(10)	28(11)	32(14)	32(14)	27(10)	29(9)	32(9)	33(10)	32(10)
	枚方	49	51(0)	47(0)	44(0)	40(0)	45(0)	42(0)	44(0)	41(0)	42(0)	43(0)
	くずは	35	59(0)	55(0)	55(0)	56(0)	54(0)	52(0)	52(0)	53(0)	55(0)	55(0)
	門真	40	30(1)	32(1)	29(1)	26(1)	31(2)	32(2)	29(2)	31(2)	32(2)	29(2)
	交野	26	39(0)	39(0)	35(1)	34(1)	34(1)	34(1)	32(1)	29(1)	25(1)	23(1)
	香里園	16	29(0)	27(0)	25(0)	26(0)	26(0)	25(0)	25(0)	21(0)	21(0)	19(0)
	守口	49	86(4)	83(4)	78(4)	74(4)	69(4)	59(3)	53(4)	52(4)	46(4)	42(3)
	守口イブニング	9	41(6)	39(6)	34(5)	29(5)	27(4)	25(4)	25(4)	26(5)	25(4)	24(3)
	寝屋川	41	49(0)	49(2)	48(2)	47(3)	42(2)	41(2)	40(3)	40(3)	37(3)	42(4)
	四条畷	31	22(0)	24(0)	21(0)	18(0)	17(0)	17(0)	17(0)	15(0)	13(0)	13(0)
第4組	東大阪	53	68(0)	68(0)	72(0)	72(0)	73(0)	71(0)	76(0)	76(0)	80(0)	75(0)
	東大阪中央	37	52(0)	52(0)	49(0)	53(0)	48(0)	51(0)	47(0)	43(0)	44(0)	42(0)
	東大阪東	45	70(0)	84(0)	78(0)	75(1)	72(1)	74(1)	76(2)	74(2)	70(3)	70(3)
	東大阪みどり	11	48(4)	48(4)	44(3)	38(2)	37(2)	35(2)	32(2)	31(1)	32(1)	28(1)
	東大阪西	25	56(0)	54(0)	51(0)	53(0)	59(0)	59(0)	52(0)	50(0)	45(0)	40(0)
	大阪柏原	40	46(4)	43(4)	45(4)	45(5)	43(5)	41(5)	38(4)	36(3)	37(3)	35(4)
	大阪ネクスト	2									22(8)	17(0)
	八尾	49	84(0)	84(0)	81(0)	91(0)	90(0)	86(0)	83(0)	83(0)	81(0)	83(0)
	八尾中央	27	35(0)	34(1)	32(2)	31(2)	31(2)	29(2)	26(2)	25(2)	25(2)	23(2)
	八尾東	37	51(3)	46(3)	41(4)	42(4)	40(4)	40(5)	39(5)	30(3)	29(3)	29(2)
第5組	大阪中央	26	62(2)	62(1)	62(1)	61(1)	61(2)	59(3)	61(6)	57(7)	61(7)	56(6)
	大阪堂島	22	51(1)	44(1)	41(1)	36(1)	38(1)	39(1)	37(1)	36(1)	32(1)	33(1)
	大阪北	57	168(0)	162(0)	155(0)	157(0)	148(0)	150(0)	151(0)	151(0)	169(0)	172(0)
	大阪北梅田	18	44(2)	45(2)	47(2)	44(2)	44(2)	43(2)	45(2)	44(2)	42(3)	50(4)
	大阪リバーサイド	30	35(2)	38(3)	35(3)	34(2)	32(3)	33(3)	32(3)	31(3)	29(3)	36(5)
	大阪西	53	93(0)	91(0)	94(0)	90(0)	85(0)	86(0)	87(0)	93(0)	92(0)	84(0)
	大阪大淀	36	62(0)	61(0)	56(0)	57(0)	53(0)	49(0)	48(0)	47(0)	47(0)	47(0)
	大阪西北	41	68(0)	66(0)	63(0)	58(0)	55(0)	57(0)	63(0)	62(0)	59(0)	57(0)
	大阪そねざき	16	60(43)	60(41)	64(40)	58(37)	55(34)	52(33)	59(34)	59(32)	58(33)	54(32)
	大阪梅田	33	63(0)	57(0)	54(0)	57(0)	55(0)	53(0)	48(0)	47(0)	47(0)	47(0)
	大阪梅田東	21	50(0)	43(0)	43(0)	38(0)	38(0)	38(0)	36(0)	34(0)	33(0)	37(0)
	大阪ユニバーサルシティー	9	25(0)	24(3)	20(3)	22(3)	25(4)	25(5)	25(5)	22(2)	23(2)	27(2)

ガバナー挨拶・地区現況報告

IM	クラブ名	クラブ年数	00−01	01−02	02−03	03−04	04−05	05−06	06−07	07−08	08−09	09−10
第6組	大阪	87	287(0)	274(0)	272(0)	265(0)	264(0)	261(0)	260(0)	254(0)	256(0)	254(0)
	大阪東	53	141(0)	139(0)	137(0)	132(0)	127(0)	117(0)	117(0)	117(0)	120(0)	120(0)
	大阪東淀ちゃやまち	41										41(6)
	大阪城東	37	55(2)	53(3)	62(3)	51(3)	47(3)	46(3)	44(3)	45(4)	50(4)	50(4)
	大阪中之島	18	43(0)	42(0)	37(0)	32(0)	34(0)	34(0)	32(0)	37(0)	36(0)	33(1)
	大阪大手前	27	55(0)	57(0)	57(0)	58(0)	55(0)	55(0)	51(0)	42(0)	42(0)	42(3)
	大阪城北	33	68(1)	68(1)	65(1)	64(1)	65(1)	61(1)	68(1)	66(1)	63(1)	60(1)
	大阪天満橋	42	97(0)	95(0)	86(0)	85(0)	82(0)	80(0)	81(0)	74(0)	73(0)	74(0)
	大阪鶴見	25	47(0)	51(0)	46(0)	44(0)	41(0)	38(0)	42(1)	39(1)	35(1)	36(1)
	大阪淀川	48	51(2)	45(2)	41(2)	37(2)	36(2)	30(2)	37(2)	39(2)	39(2)	40(2)
	新大阪	25	48(1)	47(1)	40(1)	39(1)	34(1)	34(1)	29(0)	45(1)	45(1)	39(0)
第7組	大阪フレンド	11	23(11)	23(9)	20(8)	17(4)	10(4)	19(6)	20(5)	22(5)	20(6)	17(0)
	大阪本町	19	49(1)	48(2)	43(1)	36(0)	33(0)	29(1)	32(2)	31(1)	28(1)	27(2)
	大阪御堂筋	17	67(0)	70(0)	38(0)	36(0)	35(0)	35(0)	36(0)	36(0)	35(0)	36(0)
	大阪南	56	174(0)	169(0)	164(0)	152(0)	140(0)	139(0)	131(0)	129(0)	131(0)	129(0)
	大阪難波	34	71(0)	65(0)	66(0)	57(0)	54(0)	50(0)	48(0)	46(0)	53(0)	57(0)
	大阪なにわ	26	50(2)	55(1)	52(1)	48(1)	41(2)	37(2)	32(1)	34(1)	38(1)	33(1)
	大阪南西	36	69(6)	56(6)	50(7)	44(8)	41(9)	32(5)	28(4)	28(6)	27(6)	20(4)
	大阪西南	41	108(11)	101(11)	100(11)	94(10)	91(11)	91(11)	95(13)	95(14)	95(14)	93(13)
	大阪船場	21	58(0)	56(0)	53(0)	52(0)	48(0)	45(0)	45(0)	47(0)	47(0)	45(0)
	大阪心斎橋	39	65(0)	69(0)	60(0)	54(0)	49(0)	46(0)	43(0)	38(0)	35(0)	38(0)
	大阪うつぼ	29	57(4)	47(3)	45(2)	48(2)	45(2)	46(5)	45(7)	46(8)	44(6)	41(6)
第8組	大阪阿倍野	31	35(2)	27(2)	29(4)	28(4)	28(4)	29(4)	26(4)	22(3)	20(3)	18(2)
	大阪阪南	41	70(2)	67(1)	59(1)	57(1)	48(1)	48(1)	47(2)	45(2)	46(2)	46(2)
	大阪平野	35	43(1)	36(2)	34(4)	34(4)	32(4)	33(5)	37(6)	37(5)	35(4)	37(4)
	大阪イブニング	24	33(2)	34(2)	25(2)	25(4)	27(3)	22(3)	21(4)	23(6)	22(6)	21(5)
	大阪城南	41	71(0)	69(0)	72(0)	68(0)	69(0)	65(0)	65(0)	62(0)	65(0)	58(0)
	大阪咲洲	14	29(1)	23(1)	25(1)	23(1)	22(1)	22(1)	23(1)	22(1)	22(1)	22(1)
	大阪住之江	34	42(0)	34(0)	33(0)	31(0)	29(0)	29(0)	28(0)	25(0)	26(3)	25(0)
	大阪住吉	48	61(6)	59(7)	55(7)	47(7)	45(6)	40(4)	40(3)	39(2)	39(2)	32(2)
	大阪天王寺	21	35(0)	34(0)	32(0)	31(0)	31(0)	28(0)	25(0)	25(0)	22(0)	19(0)
	大阪東南	24	50(0)	50(0)	48(0)	50(0)	51(0)	55(0)	57(0)	56(0)	56(0)	53(0)

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

国際ロータリー会長代理

ビチャイ・ラタクル

大谷 透ガバナー及びロータリアンの皆様

今回、美しい都市・大阪の地区大会で、ジョン・ケニー会長の代理として、皆様の前でお話しする機会を頂戴し、心から感謝いたします。ありがとうございます。

一つ残念なことは、私の妻Charoyeは体調がすぐれず、今回一緒に来日することができませんでした。妻と一緒に日本の多くの友人に会うことができなかったことを非常に残念に思います。

本来、ジョン・ケニー会長が、奥さんのジューンと一緒に来日する事ができれば、大谷ガバナーと玲子さんの手を握り締め、再会を心からお喜びされたと思います。また、2004年に45,000人以上のロータリアンが参加し、最も成功した国際ロータリー大会が開催されたこの大阪には、何としても参加されたかったろうと思いますと非常に残念です。

その大阪での国際大会では、私たちは多くのものを得、多くのことを学びました。ですから、この大会に参加することでRI元・現役員の方々に再会できることを心から嬉しく思います。

特に、次期RI理事の近藤雅臣氏、そして過去のガバナーの方々がここにいらっしゃるだけで励みになり、また日本のロータリーの力強さが伝わってきます。

国際ロータリーは、献身、奉仕、貢献を鼓吹し、育成する組織です。日本の各国際ロータリー役員とロータリアンがプログラムを作り発展させています。

私は、皆さんが奉仕のシンボルとして存在すると思っております。また、次期理事の近藤氏や元ガバナーの方々がいらっしゃるため、ロータリーは質の高い奉仕を行い、世界中の人々の生活に大きな影響を与える組織であり続けることができると思います。

この大会で、ロータリーについて議論しますが、一瞬目を閉じて、振り返って組織を考えてみましょう。

誰もが、ロータリーは、かなり控えめになり始めていると思うでしょう。しかし、シカゴで凍りつく夜に出会った4人の男性の描いたビジョンに比べるとはるかに発展しました。

ここ日本でも、クラブは驚異的な成長と発展を遂げたことは明らかです。日本のロータリアンは、実に様々な奉仕を行ってきています。皆さんの活動は独特であり、その活動の恩恵を期待する人々にとって大きな意味合いをなします。

そうです。ロータリーは、進度を意味し、それは正しい方向へ展開されなければなりません。確かに、ロータリーは発展の伝統を作ってきました。ほんの数日前105周年を迎え、私たちは今まで行ってきた活動に対し、誇りを持たなければなりません。

しかし、私たちは自分たちを評価したいと思ったでしょうか？

私たちは何を達成したのでしょうか？価値のあることでしょうか？

20世紀初頭に創設時のコンセプトと今現在のものとではどう違うでしょうか？

人の人生において、105歳まで生きる人はさほど多くはいず、非常に長い年月と数えられます。しかし組織の歴史としては、長期的計画のうちの一定の

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

時期に過ぎません。

昨年、私たちは「夢をかたちに」をテーマとし、貧困・識字率・水の安全性・ポリオ撲滅など様々な問題を積極的に取り上げました。しかし、まだまだ取り組むべき課題は膨大で、1年、いや10年かかっても私たちの目標や夢を達成することはできません。しかしある程度の目標は、満足のいく形で達成できてきました。

では、私たちの子供やその子供たちは、ロータリーの150 周年を祝うことができるかを考えてみましょう。どのように変わっているでしょうか？

私たちの亡き後、次の世代の者がより効果的な奉仕を追求し続けるためには、どのように進めていくべきでしょうか？

その質問に答えるのが私たちの使命であり、直接の取り組みであり、義務であると思います。というのも、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるからです。

会長の言葉を借りますが「ロータリーの素晴らしい伝統の一部として、また未来と過去を結びつける鎖の接続部として、私たちは存在する」のです。

その鎖が繋がり続けば、全ての輪は強靭になります。皆で一丸となりロータリーの未来を確かな輪として作っていくこと、それが私たちの責任であります。ロータリアンの皆様は、ロータリーの未来へ繋がる長い鎖の一部なのです。

今、ロータリーが直面する大きな問題、会員の問題があります。

80年代には、ロータリー会員は年間36,000人増え、649の新しいクラブが誕生しました。日本も例外ではありませんでした。最高時、日本の会員は10万人に達しました。しかしその後、特に南北アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に会員数は減少し始めました。

アジアでは、2006～2009年の３年間に、インドで1万3,000人、韓国で7,000人の会員が増加しました。逆に日本の会員数は徐々に減ってきており、数年前は10万人でしたが、今では9万5,000人となっています。5,000人の減少、これはタイ一国のロータリー会員数とほぼ同じ数に相当します。

この減少に関してお話しすることがこのスピーチの主題ではありません。というのも会員の脱会には様々な理由があるからです。

2009年11月のＲＩ理事会でも、ロータリーが、どの方向を向き、どのような方法で進むべきかを決めることはできませんでした。理事会では、会員増強に対する戦略とベンチマークについて、2010年1月の会議に先延ばしすることにしました。

その会議で唯一の決定事項は、2010年7月1日から、国際ロータリー会員組織地域コーディネータープログラム（RRIMC）を新しくロータリーコーディネータープログラム（RCs）とすることです。これは41 RRFCs（財団地域コーディネーター）と同じ領域で活動することになります。

私なりに会員の減少に関して、理由を考えてみました。

- ロータリーには、あまりにも多くのプログラム、会議、複雑さがあり、あまりにも費用がかかるからであろうか？
- ロータリーのもともとの魅力や、「最もよく奉仕するものが最も多く報いられる」という基本理念に基づく「超我の奉仕」の精神を失ったからであろうか？
- 競争社会の現代、若い経営者たちがロータリーの活動に参加する時間がないからであろうか？
- ロータリーの目指す永遠の原則が徐々に色あせてきているからであろうか？
- 最近のCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）の導入によって、ロータリーが今まではうまく機能していたことが誤った方向に動いているのではないか？
- ロータリーの会員としての地位が下がってきたのではないか？

ロータリアンの皆様、私にとって「価値」が常に問題なのです。

最近、理事会が採択した新会員増強の標語、「一人ひとりが実践しよう：会員の推薦と維持」は、私にとって価値のない薄っぺらなものに思えます。この標語で会員増強につながるとは到底思えません。

どのような理由であれ、会員の減少が続けば、ロータリーの終焉も遠くないかもしれません。

しかし、会員増強については、会員数の増加より、会員になるために必要な要件の重要性をしっかりと忘れてはなりません。

皆様の中には、その考え方は全く間違いだ、より多くの会員が必要だ、若い経営者の会員が必要だ、新しい息吹が必要だ、新たな活力が必要だ、と反論されるかも知れません。

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

しかし、新規会員は、会員資格を満たし、今までと同じ教育やプロセスを経て初めて会員になっていただかなければなりません。

私たちは少しでも多くの新規会員を求めますが、その目的は決してエバンストン本部の運営費の財源とするためではありません。その目的は、必要とされる人々に奉仕をする本当の意味でのロータリアンを増やし、ロータリーのイメージを更に向上させるためであります。

したがって、私は、ロータリー組織の最大目標を会員増強ではなく、会員入会資格に焦点を当てる時期に入ったと思います。量と質は密接な関係がなければなりません。これはまさにケニー会長がおっしゃっている「数と質の両面でグローバルに会員を増強する」ということです。

率直に申し上げますが、ロータリークラブを強くするためには、資格がある会員を増やすことが必要です。そして、基本に戻り、ロータリーが設立された当時に掲げられた不朽の原則に従い、私たちの長年の理念、四大奉仕の枠組みの中で組織を運営するべきだと思います。

2009年8月の「ロータリーの友」で、ロータリアンとしての基本的な教育、つまりロータリーの活動や方針、そしてロータリアンたる誇りについての基礎知識を教えることによって混乱が生じているようだ、という記事を読み、私は大変興奮しました。

以前、国際ロータリーがその方向性を失った時、ロータリーのもともとのコンセプトと四大奉仕という基本理念に戻りました。これらはロータリー精神の礎であり、我々クラブの行動の基礎となるものです。

再度申し上げますが、「職業分類」の基本理念とは、各コミュニティにおいて業種を調査し、会員名簿にない業種の中から新会員を募集するということです。そして、新規会員には、ロータリーの情報・出席条件・友情・奉仕を説明し、すべての活動は、常にクラブ奉仕の延長線上であることを理解してもらわなければなりません。

もう一つ欠かせない基本理念があります。それはロータリーの健全性に欠かせない基本的な「職業奉仕に対する義務」です。

ロータリーの職業奉仕の精神は、他の組織とは異なることはご存知だと思います。職業分類の原則は非常に独特なもので、それがロータリーのトレードマークでもあります。これは、社会生活において必要とされるもの対し、倫理的原則に基づき各ロータリアンが職業奉仕に対して実行することです。

実際、ロータリー会員は、様々な職業で構成されているため、あらゆる方面から特定の問題にアプローチすることが出来ます。さらに、職業奉仕を通し、個人同士、会社間、国家間の関係において3つの貴重な要素（誠実・高潔・共通の理解）を分かち合う絶好の機会を得ることができます。そのため、お互いが高い倫理基準を持つようになり、奉仕の精神が常に最優先の目標となります。

ただ、ロータリーたる特徴は、個々のロータリアンの行動を通してのみ実現されます。そのためロータリアンが職業上の役割を社会的な行動に移さない限り、私たちの目標を達成し、私たちの生きる世界を改善することは出来ません。

ロータリーでは、ビジネスは生活です。そしてそのビジネス道徳は、他の生活における道徳と全く同じです。私は、ロータリーの永遠の原則は、倫理的な実践を促進すること、と信じています。社会では、ロータリアンが必要だと信じています。模範としてだけではなく、何が真実で何が公平かを精力的に問いかけるからです。

昨年7月のG8サミットにおいて、ローマ教皇ベネディクト16世は、大恐慌以来の最悪の金融危機に際し、「ビジネスをコントロールする倫理が必要である」とおっしゃいました。彼は世界のカトリック司教に向けた手紙の中で、「ビジネス活動の中で、利益が最終的なものになる場合、有用である。しかし、不適切な方法で利益のみを追求し、究極の目的がない場合、富を崩壊し、貧困につながるでしょう」と言っています。

世界的な金融危機は、２年前、ウォールストリートとロンドンの無謀な銀行と保険業者の崩壊から始まりましたが、これはビジネスマンに欠けていた倫理観を超えるものでした。

法王は「最近、倫理はどこに行ったのでしょうか？」とお尋ねになられました。私はこのお言葉からロータリーの「四つのテスト」を思い出しました。

ロータリーが「四つのテスト」を採択するまでに、この理念を実行して成功した人の背景に何があると思いますか？

「四つのテスト」自体は、万病に効く魔法の言葉ではありません。

私はビジネスの実践を導いていると思います。今も昔も、私の私生活・ビジネス生活の中において、「四

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

つのテスト」は何かを決定をする際に役立つ尺度であります。4つの質問にすべて「yes」と答える場合、私たちは正しい方向に進んでいると自信を持って確信できます。

最近私がお会いしたクラブ会員の方は、競争の激しいこの時代にロータリーの目標と「四つのテスト」を維持することは不可能であるとおっしゃいました。理由を聞けば、ビジネスチャンスがなくなり利益が減るから、ということでした。

ロンドンの高等裁判所判事は「紳士協定」を「互いに誠意と良識をもって振舞う紳士たること」と定義しています。どちらの当事者も紳士たるものでなく、一方は相手方が約束したすべての義務を履行することを求め、相手方は自らの義務を履行する気がなかったためです。

これがビジネスでしょうか？

利益を上げることだけが人生の目的ですか？

お金、富、豊かさ、社会的地位を他人から評価される必要がありますか？

間違いなく、前述の二人には居場所があり、彼ら特有の価値を持っています。

現在残念なことに、理論・実践面で、人々は、富が最優先で最高のものだと主張します。私は正直に言いますが、富よりも幸せや安寧の方がもっと重要であり、正直に、そして誠実に事を起こし成功した人の新たな尺度が必要であると思います。

ロータリーバッジは、何かを意味しない限り、それは何の意味も表しません。

職業奉仕は困難な文化です。これは個人的なものであり、公開されません。 また、ロータリーとロータリアンの良心に基づくものです。私たちが真剣に職業奉仕を行い、そこから様々なことを得たと感じたら、私たちの奉仕に賛同する人も増加していくことでしょう。

前年のロータリー年度の理事会では、この「奉仕の精神」を促進する重要性を感じ、世界中で職業奉仕の実践を促進する職業奉仕委員会を立ち上げました。しかし残念なことに、2009年6月の総会で、職業奉仕委員会が打ち立てた戦略的優先事項、地域の職業奉仕コーディネータープログラム、国際会議での職業奉仕の推進、職業奉仕に関する新たな出版物の発行について、理事会は具体的な措置を講じませんでした。

だから私たちは今出発点にあるのです！

しかし、理事会が採択した案件で興味深いものがありました。それはRI定款に規定されている3つの会議（地区大会、ロータリーゾーン研究会、規定審議会）について、現在の形で継続すべきかどうかということです。つまり、見直すべきであるか？また規定された目的を果たしているかどうか？を審議すべく、理事会は既存のデータを確認し、必要な調査を実施するための委員会を設置しました。

私たちは、この最終的な結論を知る必要があります。これは草の根レベルのロータリアンにとって非常に重要な問題であり、世界中のクラブと地区に大きな影響を与えることになります。

財務については、世界の金融状況が非常に悪いにもかかわらず、2009～2010年のRIの予算は、収入はUS＄87,902,000、支出はUS$ 87,375,000、合計＄527,000の黒字会計となっています。

準備金に関して、国際ロータリー細則の17.050.6条に、「RIは直近の3年間の年間支出の最高額の85％の一般財源を維持するべき」とされています。

2009年3月31日現在の一般財源は、US＄86,100,000で、これは細則で規定されているレベルよりUS$ 27,100,000上回り、ロータリー章典の準備金の条件よりUS$ 12,600,000上回っています。このことは大変喜ばしいことです。

従って、2009年6月30日に理事会は、細則の財源要件を超える50%分を、無制限で未指定の純資産から、純投資準備金に割り当てることとしました。

話は変わりますが、あと2ヶ月足らずで規定審議会はシカゴで開催されます。

国際ロータリー定款では、規定審議会を3年毎に開催すると規定しています。

今年の規定審議会では、219の案件が審議されますが、そのうち委員の意見により、73の案件は「欠陥あり」とされました。つまり、この73案件は公表されず、審議委員会にも送られないのです。

RI細則7.037.2条に規定される「欠陥あり」とされる条件は、とりわけ次のような意味のものです：

それは決議によるものであるが、⑴ロータリー章典の内容や精神に反しているという意見があるもの、⑵理事会または事務総長の独自の判断での管理が必要となるもの、となっています。

一般のロータリアンには、この言葉の意味を理解するのは難しいでしょう。

しかし、日本の第2540、2780、2830、2840地区がRI理事会に提出した決議案では、手続要覧及

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

びロータリー章典に1923年の声明を「歴史的文書」として保存することを要求しました。しかし、審議会で審議される前に「歴史的文書」という言葉は抹消されてしまいました。私にとって、この件は非常に残念なことで、大変がっかりしました。

機会があるなら、この「欠陥あり」という言葉とRI細則7.037.2条の解釈を議論すべきであります。

規定審議会が、「欠陥あり」というだけで、この単純な決議案を議論されないなら、理事会役員は、理事会にこの件を提起し、2010年6月の理事会で話し合う必要があります。

それと同時に、決議案を出した地区は、早急に理事会に直接「記憶すべきこと」として、手続要覧及びロータリー章典に1923年の声明を含むことを提案すれば良いと思います。しかし、歴史的価値の為に、手続要覧やロータリー章典に含むべきことは言及しないで下さい。

これは、この大会や他の地区の大会における権限であり、あなた方の権利です。あなた方の特権であるのです。

皆さんの要望に応じるため必要な措置を講ずるのは理事会の権限です。

第2680, 2650, 2500地区からのクラブの自治に関する決議案（10-13. 10-14, 10-15)、また第2770, 2650, 2500 地区からの決議案（10-180, 10-181, 10-182）は、RI理事会に「1923年の声明に記述されているロータリーのモットーを基礎とした奉仕の理念を推進するよう審議を要望する」としています。

決議案10-180, 10-181, 10-182が審議会で採択されたとしても、1923年の声明の決議案23-34が手続要覧及びロータリー章典に復帰されない場合、理事会は「奉仕の理念」を推進するためどのような対策を講じるのか、という点は明らかにしなければなりません。

論理的には、まず理事会が決議案23-34を手続要覧及びロータリー章典に復帰させるということを決めることです。ただし、「歴史的文書」という言葉は含めません。そうすれば、理事会はこの「奉仕の理想」「超我の奉仕」「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」の理念を推進することができるようになります。これらすべては、献身的な奉仕の基本原則であり、私たちが存在する理由になります。

さて、話は変わり、ロータリーの別のプログラム、国際ロータリーのロータリー財団についてお話いたします。

ここ数年の財団に対する皆様の多大な支援に関しては非常に心温まる思いで一杯です。

ポリオプラスプログラムのロータリーの2億ドルのチャレンジでは、着実に進み、現金とDDFの増加に寄与しています。又、皆さんの大いなる財団への寄付が、世界中のWCSプロジェクトを通し多くの人々の生活に恩恵を与えてきています。

「水」については、世界で11億人の人々が未だ安全な水を手に入れることができません。また、世界では水が原因で病気にかかった子供が8秒に1人亡くなっています。つまり毎日10,000人以上のかけがえのない命が失われているのです。

水は命です。

飢えを経験したことのない人は、一粒の米の価値もわかりません。

貧困を経験したことのない人は、わずか10セントの価値もわかりません。

水の不足を経験したことのない人は、一滴の水の価値もわかりません。

これは私がお会いしたダーム少年の話です。

ダームは生まれてから父親に会ったことがなく、母親も彼がわずか7ヶ月の時に出て行きました。ダームは祖母と一緒に、線路沿線のボロボロの木の小屋に住んでいました。

教育を受けていない祖母は、近くの湿地にできた野菜を集めて売り、何とか食べていくことができました。しかし彼女が一日ずっと働いても1ドルも稼ぐことはできませんでした。そんな逆境の中でも彼女は喜んで仕事に行きました。もう流す涙も汗も何もありません。そんな中、彼女は決心しました。自分自身が生き残るだけではなく、自分の人生のうちでもっとも貴重なものを残そう、と。それは彼女自身の血縁でした。

ダームが5歳の時、近所の子供のように学校に行きたいと思い、祖母にお願いしました。彼女は喜んで行きなさいと言いました。

そして新学期の初日が来ました。痩せた浅黒の老女が、やせこけて全身に発疹と傷がある少年を連れて学校の門を通りました。

学校では、教師や他の生徒が、ダームはよく病気にかかり、学校も頻繁に休んでいるため、ダームの父親は、HIVエイズで死亡したという噂が学校中に流れました。

ダームもエイズの犠牲者だったのでしょうか？

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

学校の教師は、彼の家を訪問して、生活の様子をみることにしました。

教師が、祖母と住んでいる「小屋」を調べたところ、水道がないことに気づきました。どうやら、近所の家は水道を引けましたが、貧困の家庭では水道を引くお金がありませんでした。お金がなかったので、水道がなかったのです。

水は命です！ そのとき、祖母とダームは絶望しました。どうにかして水の供給源、何でも良いので水の供給源を見つけなければなりませんでした。それが見つかったのです！下水管の水が！

ダームと祖母は、土嚢を使って村の水や下水管の水を貯め、ごみや汚物を沈殿させ、きれいな部分をすくって飲みました。この水のおかげで彼らの命が助かったのです。

しかし、下水管からの水を飲んだため、ダームは下痢を引き起こし、体中に発疹が出て、発疹をかいて傷をつけました。ダームの体重は激減し、皮膚病にかかってしまったのです。

この少年は危険な状態であるとされ、この件は地元のロータリークラブの知るところとなりました。クラブはすぐさま役所に連絡し、彼は病院に送られました。

そのダームにも変化が起こりました。私たちロータリーでは何でも実現出来るのです。

数日後、ロータリーは水道管の工事を行うよう手配し、ダームのHIV検査を行いました。その結果、彼は陰性なのでした。ダームと祖母は、その後、あるロータリアンの会社で雇われています。まさにハッピーエンドです。

しかしダームの話はここで終わりません。ダームの困難な人生に対し、ロータリアンは正しい行いの必要性を認識し、行動に移しました。そして、「ロータリーの未来はその手の中にある」ことを実際に気づきました。

水の不足を経験したことのない人は、水の一滴の価値もわかりません。

ダームという少年のおかげで、50の村で何千もの生徒や何万人という人々が、現在清潔で安全な水を飲むことができるようになりました。これは、タイのロータリークラブと京都北東ロータリークラブ（第2650地区）と神戸ロータリークラブ（第2680地区）がマッチンググラントを通して行った支援です。

この他にも、識字率の向上を促進する巨大プロジェクトも始まっています。私が知っている中で、これは最も大掛かりで最も立派なプロジェクトのうちの1つです。ケーンクーン・ロータリークラブ（タイ第3340地区）、京都北東クラブのロータリアン石田 徹氏、そしてオーストラリアと米国のクラブによって始められました。

このプロジェクトによって、すぐにタイ東北部の州に、子どもや家族のために125の図書館が学校やコミュニティ施設に設置されました。50,000冊以上の本をそろえ、幼児や生徒だけではなく、大人も含め何千人もの人々が図書館に訪れ、今までに見たことのない本を読み、大いに有効活用しています。

ロータリー主催で、専門家が、若年層に本を読むよう教師に教育しています。将来必要な教育の基礎を築くために不可欠な運動です。

子供も大人も皆が熱心に毎日図書館に通い、初めて子供のための施設ができたと喜びをかみしめている大人の姿を見ると心が温まります。

「ロータリーでは何でも実現出来る」といえど、ダーム少年の人生が変わったことから端を発する出来事が、こんな短期間に達成したことはありませんでした。

しかし、ダーム少年の話は氷山の一角であります。

まだまだ世界にはダーム少年と同じような問題を抱える人が想像を超えるほど多くいます。私たちの手と心によってダーム少年の命は助かりました。

マッチンググラントプログラムはロータリアンや財団の間で人気があります。これは、ロータリアンが徐々に国際奉仕に目覚め始めていることを物語り、助けを必要とする人々に対する機会を得ていることを意味します。財団としては、非常に重要な問題を取り扱いたいという意向があるからです。

第2660地区は、世界中のクラブでも非常に重要な役割を果たしています。

特に、大阪平野、大阪北梅田、大阪心斎橋、大阪西北、茨木西のクラブは、タイの多くのクラブと連携してWCSプロジェクトに参加しています。

この場をお借りし、地区財団委員長にはプロジェクトの成功のために多大なご尽力を頂いたことを感謝し、私個人的に心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さきほどお話しました水と衛生の問題がある地域では、識字教育、健康と飢餓の撲滅、平和プログラムなど、さまざまなマッチンググラントプロジェクトが行われ大きな効果を出しています。

ＲＩ会長代理挨拶・ＲＩ現況報告

1965年に開始されて以来、30,000件以上のマッチンググラントが授与されてきています。更に、この マッチンググラントへの関心の高まる事により、「未来の夢計画」を始めることができました。

この計画は、単に管理費を削減するだけでなく、より柔軟性をロータリアンに与え、それぞれの地域社会や海外で画期的で意義のある奉仕を行う方法を提供するものです。この新しい計画は、今年の7月1日に3年間の夢試験段階（パイロット）として開始されます。新しい計画であるため、多少の調整が必要になるかと思います。

皆さんの松本新太郎次期ガバナーは、先月行われた国際協議会でこの計画の実現に関してまとめ、数ヵ月後に開催されるPETSと地区協議会で皆さんに詳細をお話されることと思います。

ただ、私たちのプログラムの中で、ポリオプラスと、国際問題研究のためのロータリー・センターの2つが変わっていません。

私は、ポリオプラスプログラムこそが組織プロジェクトであり、国際ロータリーとロータリー財団最優先事項であることを強く主張いたします。

1985年以来、世界中のロータリアンから多額の資金援助を受けています。ビル＆メリンダ・ゲイツ財団の3億5,000万ドルの補助に見合う2億ドルを募集する努力をしております。私達は今、ポリオ撲滅の目標を達成する時期に来ていると思います。

これまで、予防接種のために非常に多くの人が参加し、努力し、時間を費やしてきています。その活動の中で多くの涙や汗をかいて、また命さえ犠牲になった方もいらっしゃいます。私たちはこの運動を決して衰えさせず、諦めたりはしません。

25年以上前に予防接種の必要性を感じたほんの一握りの人は、どのようにロータリー全体に問題に取り組むよう説得したのでしょうか？

また、この運動のためにパートナー（世界保健機関、ユニセフ、CDC、ゲイツ財団など）や、120万人以上の世界中のロータリアンから、どのように信頼を勝ち得たのでしょうか？

それは、皆がその課題が途方もなく大きいと理解しているからだと思います。間もなく、私たちはポリオ撲滅の目標を達成することになるでしょう。しかし、過去に行ったことより、より多くの未来の課題があることは明白です。

目標を達成できるのは、不可能な課題を克服するビジョンと勇気を持った人々だけの勝利ではありません。人類のためになることを行っている私たち人類の勝利であるのです。

今まで目標に向かって粘り強く辛抱してきた甲斐があり、私たちはようやくゴール間近に来ました。

ロータリーは「何でも実現できる組織」であることに疑問を持つ人は、創始者の夢が今も続いていることを疑うでしょう。またロータリーの奉仕の力を疑うでしょう。しかし、今日のこの大会でその答えが見つかったと思います。また、ダームと祖母を見れば自然と答えが出ています。

私たちは、今までさまざまな人に影響を与えてきています。その人たちも皆「ロータリーは何でも実現できる組織」であることを信じています。

100年以上にわたり私たちは計画を立て、夢を見てきました。私たちは奉仕を通して、これらの計画と夢を達成してきました。こういった成果は、私たちがどれほど同じ信念を共有しているかを証明しています。

つまり「ロータリーの未来はあなたの手の中に」という信念を。

記念講演

『資本主義はなぜ自壊したのか「日本」再生への提言』

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社 理事長
多摩大学教授・ルネッサンスセンター長
中谷　巌

略　歴

1942年大阪に生まれる。1965年一橋大学経済学部卒業後、日産自動車株式会社に入社。
1969年よりハーバード大学大学院に留学。1973年ハーバード大学経済学博士（Ph.D）。
ハーバード大学で教鞭をとった後、1984年大阪大学教授、1991年一橋大学教授（～99年）を経て、2001年多摩大学学長。2008年より多摩大学教授・ルネッサンスセンター長。
1999年ソニー株式会社取締役（～05年）、2000年三和総合研究所（現三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社）理事長。
2003年ソニー株式会社取締役会議長（～05年）。
現在、アスクル株式会社、株式会社スカパーJSATホールディングス、株式会社WDI取締役。
1993年細川内閣首相諮問機関「経済改革研究会」委員、1998年小渕内閣首相諮問機関「経済戦略会議」議長代理を務めた。
2001年よりグローバル企業の次世代を担う40歳代経営幹部に対し、歴史、哲学、宗教、文明論などの本格的リベラルアーツ教育を施すべく、『４0歳代CEO育成講座』を多摩大学に開講した。
2004年オーストラリア国立大学より名誉法学博士号授与さる。2005年一橋大学名誉教授。
2008年多摩大学名誉学長。

司会から紹介を受け、大きな拍手に包まれながら壇上に現れた中谷巌氏。まず、ロータリークラブの崇高な精神について敬意を表し、そこから21世紀の世界についてお話になられました。

今回は、氏が2008年12月に上梓した著書『資本主義はなぜ自壊したのか「日本」再生への提言』をテーマにした講演でした。しかし、出版から時間も経ち、当時とは考えが変わってきている所もあるとのことで、今現在の率直な意見を、真剣な眼差しで、時に笑いも交えながら、熱く語って下さいました。

21世紀の課題は奉仕である

これまで、人間は己の欲を満たすために、様々なエネルギーを発見し、目覚ましい発展を遂げてきました。しかし、自分の欲望を最大化することばかりに、身を委ねた結果、環境破壊や貧困の問題など、様々な問題が噴出しています。人類は、このままではやっていけません。今までのように、利己的な考え方では、これらの問題を解決できません。自分の幸せだけでなく、相手の幸せも思う精神を持たなくては、ならないのではないでしょうか？サービス、奉仕、というものがこれから、21世紀に向けて、もっとも重要な課題だと言っても過言ではない、と思っております。

今日は、まず21世紀の世界はこれからどうなっていくのかを、人類の長い歴史の中から考えてみたいと思います。今人間は、いかなる危機に陥ってい

記念講演

るのか、最も本質的なところは何なのか？ということを理解しないと前には進めないと考えるからです。

自然に対する考え～西洋と東洋の思想の違い

紀元前500年頃、地球の東と西で偉大な思想家が相次いで誕生しました。西では、ギリシャ哲学、アリストテレス・プラトン・ソクラテスなどが、東では、釈迦、孔子、インドではウパニシャッドが生まれました。

ギリシャ哲学・西洋の思想は、個人の欲望をどのように実現していくのかをロジックを使って説明しています。一方で東洋の思想は、自分の欲望を実現するだけでは幸せにはなれない。個の欲を抑え、足るを知る心を知りなさい、と説きました。全く違う考え方ですが、それ以降の世界を見れば、圧倒的に西洋の考え方が広まったと言えるでしょう。

その後、西側にはキリスト教が生まれました。キリスト教では、神が世界を作り、自然や人間を作ったとされています。そして、人間は自然を管理・運営する義務を託されたとしています。後にこのキリスト教の教えは、世界の近代化に大きな役割を果たしました。

15世紀から16世紀にかけて、西洋ではデカルトやフランシス・ベーコンにより近代合理主義が誕生しました。自然とは物質であり、人間と心が通い合うことはないので、畏れる必要はないと訴えました。これは、キリスト教の教えとも一致し、人間の自然に対する畏怖心を取り払うことに成功しました。自然を好きなように扱っても良い、人間中心主義・ヒューマニズムという考えが一気に広まりました。私達は、明治以降に受けた教育により「ヒューマニズム」と言いますと、非常にいい言葉という印象を持っています。しかしこれは、人間中心主義であり、人間に都合の良いとこであれば、自然を犠牲にしてもいいという考えでもあります。

これにより、近代科学は革命的な進展を見せることになりました。そして、様々な発明・発見が行われ、産業革命が起こり、現在のような高度な資本主義が生まれてきたわけです。

そしてこれを制度的に支えたものが、民主主義と市場主義です。

民主主義と市場主義の問題点とは

民主主義では、一人一票づつ平等に投票することができます。それぞれが良いなと思う政策に投票するのです。つまり、個人、個人の欲の集合です。市場主義もよく似ています。我々は、マーケットで自分が一番良いと思う商品にお金を投票しているのです。多くの人が、良いと思う商品は沢山売れ、会社も儲かります。そして、あまり売れない商品は淘汰されていくのです。このように人間の欲を集計し、配分していくのが市場主義です。民主主義も市場主義も、個人の欲望を最大多数の最大幸福を実現する制度と言えるでしょう。そして、この二つの制度の組み合わせは、現代世界では最善の政治経済制度であると考えられています。最善の制度であるはずが、なぜ現代社会はこんなにも問題を抱えているのでしょう？それは、この制度にはいくつかの欠点があるからです。

民主主義は、投票権を持っている現代世代の欲望が最も大切にする制度です。

世界遺産である白神山地では、先祖代々里山を作り森林を守ってきました。ただ、この森林を伐採し、木材として売るかどうかを決めるのは、現在の人間です。木材を伐採して、売ってしまえば、現在の人間は潤います。しかし、これまでの先祖の思いや森林の恩恵をうけるはずだった子孫はどうなってしまうのでしょう？

国の借金も同じことです。この多額の借金を残せば、我々の子孫は増税に苦しむことになるでしょう。しかし現在の欲望を最優先に、この生活水準を下げたくないという一心で借金を続けています。

もし、人間が先祖や先々の子孫のことまで考えて、投票できるならば、資本主義は素晴らしい制度と言えるでしょう。しかし、残念ながら私達人間は、そのように崇高な存在ではありません。過去の文化や伝統を捨て、子孫の生活がどうなるかを考えずに、目の前の欲望を最優先にしてしまいます。これが、今地球を大きな危機に貶めている原因ではないでしょうか？このぐらいの謙虚さを持って、現在のグローバル資本主義を評価し直さなければならないと

記念講演

思います。

21世紀、これから世界はどうなるのか？

フランスの経済学者・思想家であるジャック・アタリ氏は、著書『21世紀の歴史―未来の人類から見た世界』の中で、これからの世界について述べています。

現在の政治経済制度を続けると、環境破壊は止まりません。ヨーロッパのある国が、非常に厳しい環境規制を敷いたとします。しかし、グローバル資本の中では、企業は環境規制のない国へ逃げていくことができます。そして、貴重な資源の奪い合いが起こります。今、一番心配されているのは、水の奪い合いです。砂漠化が進む世界では、水だけではなく、食料やエネルギー資源も不足しています。グローバル資本の恩恵を受けている国は、ごく一部であり、アフリカの最貧国では、ますます貧困化が進んでいます。やがて、豊かさを求めて民族大移動が始まります。そして僅かな資源の奪い合いは、壮絶な争いを生みます。20～30年後には、世界中で超紛争の時代が来るでしょう。世界中で悲惨なことが起こり続け、誰かが核のボタンを押してしまうかもしれません。そこまで来てやっと、人々は「現在のシステムには根本的に問題があるのではないか」ということに気づきます。強欲な人間達も、ようやく釈迦の「足るを知る」という心を知り、もう少し利他的なシステムを作るでしょう。これは、楽観的な予測ですが…。

アタリ氏は、これを今から50年後の2060年頃と予想しています。2500年前に同時に生まれた、西洋の“個人の欲望を正当化する思想”と東洋の“欲望を抑える思想”。これまでは、西洋の思想を中心に世界が作られ、グローバル資本主義システムを生みました。しかし、これが限界に突き当たり、人々は2500年前の東洋の思想に帰るのではないか、と。こんなことが、実際に起こるでしょうか？それを言っているのが、東洋の人間ではなくデカルトを生んだフランスの人だというのがおもしろいと思います。

そしてロータリークラブの掲げる目標・精神は、今最も求められるものであり、これからの時代に必要とされる団体だと思います。

森林の国・日本の自然観

日本は、とてもユニークな国です。Ｇ７でもキリスト教でない国は日本だけです。日本のほど、キリスト教徒の数が少ない国は世界的に見ても珍しい。

日本は、国土の７０％は森林です。木によって、天上が覆われている森林の国です。日本人にとって、神様は天上ではなく森の中にいるのです。明治以降、たくさんのミッションスクールが建てられましたが、クリスチャンになる方は非常に少なかった。日本には、幸か不幸かキリスト教が定着しませんでした。未だに「人間は自然によって生かされている」という自然観・宗教心を持っているのです。

地球環境問題を本気で解決していこうとするなら、西洋のように力で自然を抑えこもうとするのではなく、自然と共存・共栄しようとする考えが必要だと思います。日本は、この自然観・自然哲学を世界に伝える活動が出来るのではないかな、と思います。

日本人が受け継いできた信頼と平等

もう一つ、日本がユニークな点があります。それは「日本は階級社会ではない」ということです。ヨーロッパでは、ある民族が他民族によって征服されることが、日常茶飯事でした。征服された民族は、奴隷になっていきました。そんな社会が、階級社会になるのは当たり前のことです。日本は、他民族によって征服されたことが一度もありませんでした。一万年以上に渡って、征服されていない。これは、凄いことです。明治維新以降、日本は急速に欧米化しようとました。しかし、西洋にかぶれた人間も西洋人のようになれませんでした。一万年以上続く日本人のDNAを、簡単には変えることができません。日本人は長期に渡って、そのDNAを連綿と受け継いできたのです。他民族に征服されることもなく、平安時代も江戸時代も長期に渡って戦争がなかった。こんな国は、世界中どこにもありません。長期に安定した社会を築くことができたのです。

長期安定社会で一番大切なのは「信頼」です。昨日も今日も明日も同じメンバーで生活しているので

記念講演

す。信頼できない奴はだめ。日本は「信頼」でここまでやってきたのです。

「Made in Japan」ブランドは、価格は高いけれど良いもの。世界の人がそう思ってくれるのも、長い時間をかけて信頼を勝ち取ったからです。

江戸時代の日本は、「士農工商」の身分制度の厳しい時代だったと言われていましたが、最近の研究で、実はそうではなかったということが分かってきました。江戸時代の日本は、平和で争いもなく、庶民中心の世の中だったそうです。浮世絵や文楽、浄瑠璃などは全て庶民文化です。各地に寺子屋が作られ、みんなが自発的に勉強し、識字率も大変高いものでした。

欧米は階級社会ですから、国際会議に庶民は出席しません。反面、日本の代表は庶民の出の人が多いです。欧米の方は、上流階級の出ですから、皆ある程度同じ価値観を持っています。ところが、庶民派の日本の代表には、それが分からない。こうして、国際会議の場で発言の機会が減っていったのです。しかし、一部の上流階級の人が一般階級から搾取し、社会を治めるのではなく、庶民が中心になって一緒になって盛り上げていく。この日本型の社会の方が、より21世紀的だと思います。

これからは、日本流で世界を引っ張る存在に…

明治維新以降、西洋化・近代化を進める中で、我々は常に過去を否定し続けてきました。日本人はずっと「西洋が進んでいる。日本は駄目だ」という教育を受けてきました。しかしそんな駄目な国が、世界ナンバー2の経済大国になるでしょうか？

日本は、信頼を重視し、平等な社会を築いてきた世界的に稀有な国です。現在の傷ついた世界を修復する上で、信頼・平等のある日本がなすべきことは大変多いと思います。

ところが今、グローバル資本主義の中で、日本は構造改革を推し進めました。会社はどんどんリストラをし、弱者を切り捨てる社会になりつつあります。労働者を大切にしなくては、現場力が弱っていきます。このようなアメリカ流のものの考えでは、日本は力を発揮できません。西洋化を進める波の中で、失われてきた日本人の良いところを再認識し、取り戻さなくてはなりません。

今、世界は平等で利他的な新しい哲学を求められています。その先頭を我々日本が切らなくてはならないのではないでしょうか？そしその地盤を持っているのは、西洋の方ではなく、我々日本人であると思います。

これからの世界の中での日本の役割、日本人が連綿と受け継いできた信頼の心・奉仕の心。ロータリークラブの精神ともつながるお話に、場内からは惜しみない拍手が沸き上がりました。多くのロータリアンにとって、明るく前向きに頑張る力を貰えた有意義な時間になったと思います。

来賓・地区関係

■来賓

敬称略

大阪市長	平松　邦夫		
RI会長代理	ビチャイ ラタクル		(タイ・トンブリ)
RI会長代理秘書	スベンソン 智江美		(タイ・バンコク)
RI元理事・ロータリー財団管理委員	田中　作次		(八潮)
RI元理事	板橋　敏雄	板橋　律子	(足利東)
RI元理事	菅生　浩三	菅生　和代	(大阪北)
RI元理事	重田　政信	重田　晴子	(高崎北)
RI元理事	渡辺　好政	渡辺　昭子	(児島)
RI理事エレクト	近藤　雅臣	近藤　淑子	(千里)
RI会長代理エイド	井上　映夫	井上美智子	(千里)
RI第2750地区ガバナー/ガバナー会議長	久邇　邦昭	久邇　正子	(東京南)
RI第2580地区ガバナー/ガバナー会副議長	多田　宏	多田紀美子	(東京神田)
RI第2590地区ガバナー/ガバナー会副議長 令夫人		野坂由美子	(横浜中)
RI第2630地区ガバナー	岩本　忠	岩本　正子	(伊勢)
RI第2640地区ガバナー	村上　有司	村上　和子	(田辺)
RI第2650地区ガバナー	富田　謙三	富田　博子	(京都)
RI第2690地区ガバナー	葛尾　信弘		(松江東)
RI第2820地区ガバナー	内藤　彰	内藤　紀子	(土浦南)
RI第2830地区ガバナー	村井　達	村井　精子	(八戸)
RI第2580地区パスト・ガバナー	前川　昭一	中曽根真理子	(東京豊島東)
RI第2610地区パスト・ガバナー	津田　達雄	津田　千春	(砺波)
RI第2630地区パスト・ガバナー	服部　芳樹	服部　朝子	(岐阜)
RI第2640地区パスト・ガバナー	小島　哲	小島毘沙子	(泉大津)
RI第2640地区パスト・ガバナー	平原　祥彰	平原　養子	(粉河)
RI第2650地区パスト・ガバナー	岡村　吾郎	岡村　昭子	(奈良)
RI第2670地区パスト・ガバナー	豊田　章二	豊田　智子	(高松南)
RI第2680地区パスト・ガバナー	安平　和彦	安平佐千代	(姫路)
RI第2680地区パスト・ガバナー	石井　良昌	石井惠美子	(尼崎西)
RI第2700地区パスト・ガバナー	廣畑　富雄	廣畑　一代	(福岡西)
RI第2740地区パスト・ガバナー	隅田　達男	隅田　ひで	(伊万里)
RI第2770地区パスト・ガバナー	関口　博正	関口　官子	(杉戸)
RI第2800地区パスト・ガバナー	藤川　享胤		(鶴岡)
RI第2820地区パスト・ガバナー	片岡　信彦	片岡　雅子	(土浦南)
RI第2530地区ガバナー・エレクト	大橋　廣治		(福島南)
ロータリーの友事務所所長	渡辺　誠二		(東京みなと)
(財)ロータリー米山記念奨学会事務局長	坂下　博康		(東京北)

■地区関係

パスト・ガバナー(1982−1983)	戸田　孝	戸田　操	(八尾)
パスト・ガバナー(1990−1991)	廣瀬勘一郎	廣瀬ヨシ子	(大阪西南)
パスト・ガバナー(1993−1994)	大森　慈祥	大森　保子	(茨木)
パスト・ガバナー(1995−1996)	熊澤　忠躬		(守口)
パスト・ガバナー(1996−1997)	中川　章三	中川　桂子	(大阪城南)
パスト・ガバナー(1998−1999)	吉川　謹司	吉川　房恵	(東大阪東)
パスト・ガバナー(2001−2002)	寺田　和之	寺田　初子	(大阪)
パスト・ガバナー(2003−2004)	若林　紀男	若林　俊子	(大阪東)
パスト・ガバナー(2004−2005)	宮田　宏章	宮田　和子	(大阪北)
パスト・ガバナー(2005−2006)	神崎　茂		(大阪西)
パスト・ガバナー(2006−2007)	岩田　宙造	岩田　善子	(大阪南)
パスト・ガバナー(2007−2008)	新谷　秀一	新谷　秀子	(池田くれは)
パスト・ガバナー(2008−2009)	横山　守雄	横山　悦子	(大阪中央)
ガバナー・エレクト	松本新太郎	松本悠美子	(八尾)
ガバナー・ノミニー	岡部　泰鑑	岡部真由美	(大阪城南)
ガバナー補佐(IM第1組)	橘高又八郎	橘高　光	(池田)
ガバナー補佐(IM第2組)	大森　保子		(茨木西)
ガバナー補佐(IM第3組)	西垣　文雄		(大東中央)
ガバナー補佐(IM第4組)	鈴木　洋		(八尾東)
ガバナー補佐(IM第5組)	井上　隆晴		(大阪リバーサイド)
ガバナー補佐(IM第6組)	重里　國麿	重里美和子	(大阪天満橋)
ガバナー補佐(IM第7組)	青木禎一郎		(大阪フレンド)
ガバナー補佐(IM第8組)	藤田誠一郎		(大阪阿倍野)
ガバナー補佐エレクト(IM第1組)	宮内　敏光		(豊中南)
ガバナー補佐エレクト(IM第2組)	北田他実夫		(高槻東)
ガバナー補佐エレクト(IM第3組)	西原　房三		(守口)
ガバナー補佐エレクト(IM第4組)	山片　重房		(東大阪みどり)
ガバナー補佐エレクト(IM第5組)	山田　崇雄		(大阪北梅田)
ガバナー補佐エレクト(IM第6組)	高島　凱夫		(大阪中之島)
ガバナー補佐エレクト(IM第7組)	田中　壽秋		(大阪なにわ)
ガバナー補佐エレクト(IM第8組)	泉　博朗		(大阪住吉)
ガバナー夫人	大谷　玲子		

■他地区関係

RI第2590地区	野沢　隆幸	野沢弥代子	(川崎大師)
RI第2590地区	竹田　正和		(川崎大師)
RI第2680地区	福田　晋也		(伊丹昆陽池)
RI第2730地区	平　惠子		(鹿児島サザンウインド)
RI第2730地区	川原　篤雄		(鹿児島サザンウインド)

新世代グループ

■ローターアクトクラブ

ローターアクト地区役員

地区代表	原　陽子	（吹田RAC）
地区幹事	松山　奈央	（大阪RAC）
地区副幹事	則武　直樹	（大阪天満橋RAC）
地区副幹事	大野　菜穂美	（大阪御堂筋RAC）
地区会計	松本　有加	（大阪西南RAC）
大阪南ゾーン代理	中　邦暁	（大阪南RAC）
地区代表ノミニー	猪辺　嗣人	（大阪北RAC）

関西大学ＲＡＣ

会　長	阪口　章吾	
副会長	井上　大輔	
幹　事	木村　悠太郎	

大阪西南RAC

会　長	横山　和也	
会　計	伊藤　佑亮	
	赤松　典昭	
	杉山　康明	
	古川　義晃	
	八崎　将志	

■インターアクトクラブ（提唱クラブ）

清風中学校・高等学校	（大阪南）
相愛中学校・高等学校	（大阪）
四天王寺高等学校・中学校	（大阪阪南）
大阪浪速中学校・高等学校	（大阪住吉）
大阪桐蔭中学校・高等学校	（大東）
金光八尾中学校・高等学校	（八尾）

■PSC

PSC会長　野村雅夫　山科幸夫

■GSEアルムニ会

GSEアルムニ

会長	生田　英輔	
幹事	播本　裕典	
副会長	平井　拓己	
会計	梅辻　真希	
監査	樋口　純子	
今年度アメリカ派遣団員	松永　圭司	（八尾中央）
	吉田　章夫	（大阪イブニング）
	品川　明日香	（大阪北）
	端山　信吾	（大阪西南）
	大本　尚美	（大阪鶴見）

■青少年交換学生（受入クラブ・派遣クラブ）

インバウンド	Yannick Allard	（大阪咲洲）
	Luke Bradt	（大阪咲洲）
	Emily Rice	（大阪中央）
	Theo Baret	（高槻西）
	Abby Staysa	（大阪天満橋）
	Jeanne Neuville	（大阪住吉）
	Bethany Krasey	（大阪ネクスト）
アウトバウンド	久田　宏太郎	（高槻西）
	松本　侑一郎	（大阪ネクスト）
	中島　千紗子	（大阪大手前）
	増本　かなみ	（茨木東）
	山村　芹菜	（大阪天満橋）
	森本　大貴	（大阪天満橋）
	山本　悠	
	小林　龍太郎	

■米山奨学生・米山奨学生学友会（関西）

米山奨学生

許　　鋟	（豊中千里）
唐　志　強	（大阪西）
袁　厚　群	（豊中）
朴　宗　仁	（千里メイプル）
李　　瑾	（大阪ー淀川）
鄭　子　揚	（豊中南）
ボーゴダ, インディカ・ウダヤ・クマーラ	（吹田西）
刘　璐	（大阪御堂筋）
隋　　正	（大阪梅田東）
アギラル・ピネダ, ケレン・ヒセラ	（大阪柏原）
李　家　暐	（八尾中央）
哈斯額尔德尼	（寝屋川）
江　　珮	（大阪イブニング）
蘇　　麗	（大阪中之島）
金　恩　貞	（大阪住吉）
李　映　瑩	（大東中央）
林　白　玫	（吹田江坂）
林　璁　秀	（高槻）
関　天　放	（箕面）
ヤマーフー, バダムハンド	（大阪大淀）
イサエバ, タチアナ・イバノブナ	（東大阪東）
鄭　丞　淙	（大阪鶴見）
キッフォアン, ラウノ	（東大阪西）
タイ　ヴァン　ナム	（千里）

米山学友（関西）

会長	朴日（ボク　ニチ）
顧問	林　錫璋（リン　シャクショウ）
幹事長代理	張　朔源（チョウ　サクゲン）
相談役	林　小微（リン　ショウウイ）
会計	李　麗兪（リ　レイユ）

米山学友・ホームカミング

金　守基

■チームライラ

高橋洋子　山本　浩　山本史子　新田恭子
李　落落　修　麗娜　大西麻容

表　彰

ＲＩ会長賞（2008−09年度）
2組：茨木東・吹田・高槻
3組：大東中央・くずは・寝屋川
4組：東大阪東・八尾
5組：大阪北・大阪北梅田・大阪リバーサイド
6組：大阪・大阪東・大阪天満橋
7組：大阪本町・大阪南・大阪心斎橋
8組：大阪阪南・大阪平野

協同プロジェクト最高賞（2008−09年度）
門真・守口・守口イブニング・大阪難波

意義ある業績賞（2008−09年度）
寝屋川

会員増強・拡大賞（2008−09年度）
最高の成長率達成：　大阪ユニバーサルシティー
最多の新入会員達成：　大阪
最高の退会防止率：　寝屋川

会員増強推進計画賞（2008−09年度）
茨木東・大阪北梅田

小規模クラブ会員増加賞（2008−09年度）
豊中―大阪国際空港

会員増強目標達成賞（2008−09年度）
豊中―大阪国際空港・茨木・茨木東・千里・寝屋川・
大阪北梅田・大阪リバーサイド・大阪梅田東・大阪―淀川

ローターアクト会長賞（2008−09年度）
茨木RAC・吹田RAC・大阪RAC・大阪東RAC・大阪北RAC
大阪天満橋RAC・大阪梅田RAC・大阪南RAC

ロータリー財団地区特別奉仕賞（2008−09年度）
$10,000以上の大口寄付　辻川　功一（大阪中央）
西野　公庸（大阪堂島）
山口　誠（高槻）

ロータリー財団地区奉仕賞（2008−09年度）
$6,000以上の寄付達成　常楽寺　善雄（東大阪東）
新谷　秀一（池田くれは）
隅谷　尚典（大阪柏原）
今堀　幸（高槻）
入野　敏夫（高槻）
馬場　一雄（豊中）
佐野　清（八尾）

ロータリー財団寄付優秀クラブ（2008−09年度）
会員一人当たりの年間寄付上位3クラブ

第１位	千里メイプル	473.36ドル
第２位	東大阪	259.26ドル
第３位	大阪リバーサイド	248.48ドル

100%「財団友の会」会員クラブ（2008−09年度）
池田くれは・茨木西・大阪梅田・大阪鶴見・大阪阪南・
大阪住吉・大阪天王寺

「毎年あなたも100ドルを」クラブ（2008−09年度）
池田くれは・茨木・茨木西・千里メイプル・大阪梅田・
大阪鶴見・大阪阪南・大阪住吉・大阪天王寺

ポールハリスソサエティ（2008−09年度）
年次寄附または使途指定寄付を毎年1000ドル、または隔年
2000ドルを寄付する意思を表明しているロータリアン
新谷　秀一（池田くれは）
辻川　功一（大阪中央）

米山奨学金寄付1億3000万円達成クラブ（2008−09年度）
大阪

米山奨学金1億円達成クラブ（2008−09年度）
大阪南

米山奨学金8000万円達成クラブ（2008−09年度）
大阪西南

米山奨学金6000万円達成クラブ（2008−09年度）
大阪天満橋

米山奨学金4000万円達成クラブ（2008−09年度）
東大阪中央・大阪―淀川

米山奨学金3000万円達成クラブ（2008−09年度）
大阪北梅田・八尾中央

米山奨学金寄付優秀クラブ（2008−09年度）
個人平均寄付額上位５クラブ

1	茨木西	47,222
2	大阪北梅田	45,487
3	千里メイプル	40,142
4	茨木	31,642
5	大阪西北	28,898

米山功労クラブ（2008年10月1日～2009年9月30日）

池田くれは	箕面	豊中
豊中南	豊中－大阪国際空港	茨木西
千里メイプル	吹田	大東
枚方	交野	東大阪
東大阪中央	東大阪東	大阪柏原
八尾	大阪中央	大阪北
大阪北梅田	大阪リバーサイド	大阪西
大阪西北	大阪梅田	大阪梅田東
大阪	大阪東	大阪東淀ちゃやまち
大阪城東	大阪大手前	大阪城北
大阪天満橋	大阪―淀川	大阪本町
大阪御堂筋	大阪南	大阪難波
大阪心斎橋	大阪うつぼ	大阪阪南
大阪城南	大阪東南	大阪西南

米山特別功労法人（2008年10月1日～2009年9月30日）
白石薬品株式会社（大阪北梅田）

米山功労者一覧（2008年10月1日～2009年9月30日）
（※印はマルチプル　Ⓜ印はメジャー・ドナー）

池田	林　功	※十家　和弘		
池田くれは	※巽　多津子			
箕面	※林　喜英	※芝野弘三郎	Ⓜ瀧瀬　尚峻	
箕面中央	※増田　俊	※上野　弘之		
豊中	Ⓜ馬場　一雄	※中西　敬次	田中　正一	
	横田　広司			
豊中南	※榎原　嘉之	増山　忠雄	※光本　義一	
	※山本　和市	吉村　直樹	※吉田　弘孝	
豊中－大阪国際空港	※齊城　正之			
豊中千里	※福田　みほ	野原　嗣久	奥村　量之	
茨木	樋口　淳一	※笠原隆之助	三好千代子	
	多田　節子			
茨木西	※赤井ムツヱ	※馬場　孝志	※宮里　唯子	
	※中小路悦子	※中西　隆英	※西田　滋	
	※西尾　忠夫	※野地　龍夫	※大森　保子	
	※佐々木良高	※清水　達也	※田村　英明	
	※坪内　隆	※吉岡宣史朗		
千里	馬場　明道	※井上　暎夫	神前　俊彦	
	※新原　健市	※上橋　芳雄	上島　一夫	
千里メイプル	※藤田　芳浩	※黒川　彰夫	※水本　徹	
	※水野　薫	※西本　明文	※山田　達也	
摂津	※稲垣　俊文	※和泉　慎次	※川西　靖裕	
	※前田　暁信	※西本　勝	下村　三郎	
	※横田　聡			
吹田	※羽間　勝昌	清金　慎治	※大枝　朗	
	※畳谷久仁子	※田中和一郎	※吉田　充	
吹田江坂	※北山　陽一	※大井　清	※田畑　勉	
	※田中　茂晴			
高槻	※生駒　俊雄	※今堀　幸	※津久田康成	
高槻西	※高津　嘉夫			
大東	※江原　誠三	※樋口　秀和	※池田　實	
	※北本　良弘	※松原　清一	※中　恒夫	

表彰

	※川村　貞行	Ⓜ北村　昌幸	小高　得央	
	※小中　義博	※黒田　一	三上　教道	
	Ⓜ村田　吉弘	中川　宏一	中川　清孝	
	※中井　梅雄	※楢崎　正博	※中島　博司	
	※﨑　一男	新堂　友衛	砂原　和彌	
	高野　正康	田中　弘文	※田中　経久	
	※土井　孝夫	上原　武彦	※山下　仁孝	
大阪東淀ちゃやまち	※小澤アキ子			
大阪城東	家原　泰雄	※川中　義裕	中村　容子	
	中山　浩志	※岡　俊紀	西條　仁久	
	※世良　醸治	※新谷　裕之	※梅本久美子	
	山本　秀典	柳瀬　寛之		
大阪中之島	※福田　忠博	※堀口　利夫	※前田　隆司	
大阪大手前	※金髙　好伸	※松浦　貞男	中林　邦友	
	名和　道紀	※中村　不二	※小原　敏明	
	※大蔭　政勝	※関　謙二	多田　秀觀	
	上田　耕司			
大阪城北	※服部　貢	※濱田　智志	※廣田　敦善	
	岩田　龍三	※森長　堯熙	※中家　義明	
	※野上　恭嗣	Ⓜ新酒　武	柴　雄一	
	柴田　洋			
大阪天満橋	※岸本　良一	椹木　勇	※坂本　一民	
大阪鶴見	※林　成志	Ⓜ発　剛士	※清水　正憲	
大阪ー淀川	西川　正一	※白方　誠彌	※陳　思　乾	
新大阪	※岡田　孝司			
大阪本町	※中森　英夫	谷口　直人		
大阪御堂筋	※宮武　明彦	※坂田　哲男	砂川清太郎	
大阪南	※淺沼　健一	※早石　誠	※林　信幸	
	※井上　通敏	※伊井　智昭	※掛川　雅仁	
	川岸　靖雄	※木村　芳樹	※小八木規之	
	※小山　博記	※小谷　公穂	暮松　毅	
	松尾　浩一	松林　寛	※三原　幸二	
	佐々木純一	※左藤　孜	※清水　裕	
	※鈴木　慶一	谷　明	武田　太郎	
	※田中　三男	※土井　廣	※上村　豊	
	※上田　豊	※山口多賀司	米倉　彦之	
大阪難波	※原田　直己			
	※望月　英成	髙橋　誠	天本　雄二	
大阪なにわ	※濱浦紀代輝	※佐伯　崇邦		
大阪船場	※渡辺　忠之			
大阪心斎橋	※竹馬　忠雄			
大阪うつぼ	※遠藤　肇	※藤井　健蔵	※濵田多喜男	
	※橋本　逸郎	※東村　高良	小林　厚	
	※村上　正人	※奥野　秀郎	※奥山　泰弘	
	塩津　正之	※植田　庸子		
大阪阪南	※古田　鶴彦	※服部　四郎	※井上　隆智	
	※笠井　勝巳	汲田　英明	※増田　亨	
	※中谷　龍石	※乃口　忠勝	※能口　武雄	
	阪　広久	※宇田　壽彦	※和田　健	
	※米田　誠治	※吉田　英哲	※四ッ碇行雄	
大阪平野	※毛利　進	大森　利治	※佐野　元英	
	※須戸　弘昭	※山田　晶一		
大阪城南	※三木　敏裕	中谷　徹雄	※佐伯　爲次	
	※梅崎　道夫	※渡邊　邦雄		
大阪住吉	Ⓜ原野　圭司	※小松　俊雄		
大阪天王寺	※米川　和作			
大阪東南	衛藤　吉明	※林　銑吉郎	※森脇　隆	
	※中川　浩孝	※田中　敬一	※田中　研一	
	冨田　栄次			
大阪西南	※深本　繁雄	藤田　和美	一尾　晋示	
	※森下美恵子	※村井　史郎	西尾　智子	
	及川　隆明	※大喜多克己	繁野　光一	

ロータリー財団への寄付（2008年9月1日～2009年9月30日）

（Ⓜ印はマルチプル・ポールハリス・フェロー　Ⓑ印はベネファクター）

池田	真鍋　司	松尾　光明	西山　清	
	Ⓜ岸上　宏司	Ⓜ北野　紀之	Ⓜ奥村　昌也	
	Ⓜ山口　正之	Ⓜ山本　格	Ⓜ吉岡　崇	
池田くれは	Ⓜ正岡　哲	Ⓜ新田　耕平	Ⓜ田中　隆弥	
	Ⓜ新谷　秀一			
箕面	三崎　望	Ⓜ川端　崇且	Ⓜ芝野弘三郎	
	Ⓜ多田　慶三	Ⓜ林　喜英	Ⓜ片山　三郎	
	Ⓜ瀧瀬　尚峻			

	※小川　芳男	※鷺森　董	※大東　弘	
	※田中　祥介	※谷中　清孝		
枚方	金森　市朗	仲　光男	西本　和彦	
	小野　俊文	田邉　誠		
交野	小林　杲	※小菓　裕成	※張　虞　安	
くずは	森　賢司			
守口イブニング	江端　豊和	伴　範子	※樋上　重夫	
	藤井　良郎	※福田　治夫	金﨑　正明	
	岸田　唯志	小林　澄子	政　旬一	
	大島　栄子	佐々木　誠	山本　覺	
	吉岡　章夫			
四條畷	※貝阿弥一郎			
東大阪	※石橋　英司	※井戸本忠彦	※木室　清一	
	※義之　清規	※熊本　博	※森田　康夫	
	※村岡　万功	※樽本　文男	※安田　嘉雄	
	※山本　哲三	米島　康夫		
東大阪中央	※金子　誠二	※郷田　清義	松岡　武	
	※三木　武志	※西村　啓三	※佐藤三千秋	
	※渡辺　斌			
東大阪東	※石田　肇	※梶原　孝彦	※加納　真治	
	※北埜　登	※北井　宗一	※北川　忠嗣	
	※溝畑　正信	森井　繁雄	※辰巳　裕胤	
	※辻　正	※山岡　信也	吉崎　広江	
東大阪みどり	北山　治信			
東大阪西	Ⓜ龍田　宇内			
大阪柏原	※早川清一郎	松田　琢志	※町野　勝康	
	小原　進	※大谷　隆英	※大橋　秀樹	
	※岡村　政嗣	※榊原　春枝	※檀野　隆一	
	山田　恭子			
八尾	今西　敦之	※小山　悦治	※後藤　孝吉	
	※村本　順三	※中谷　武男	※中川　將	
	※佐野　清	※菅野　茂人	田中　康正	
	※高井　栄彌	※田中　昌之	宇野　泰正	
	※植　健次	山田　博義	※山本　昌市	
	Ⓜ山本　義治	吉本　憲司		
八尾中央	※林　明雄	※野中　志郎	※武田　誠二	
	吉馴　茂子			
八尾東	山田　哲男			
大阪中央	※石黒　重三	松本　晴充	森脇　寛	
	※麦谷　実	※辻　幸雄		
大阪堂島	※播磨　章一	川村　俊明	※北　研次	
	※水山　章			
大阪北	※江崎　正道	岩堀　雅彦	梶原　常義	
	※桐山　輝彦	※後藤　二郎	※栗本　友和	
	※黒田　恭年	前田　順一	※真野清以志	
	※森　禎良	野瀬　宰	※薩摩　卯一	
	※島田誠次郎	戸奈　常光	魚本慶一郎	
	※和中　裕	山岡　義生	※山下　和彦	
	※山下　嘉治			
大阪北梅田	※岸本健之亮	※奥田太加幸	※寺岡　龍彦	
	※和氣　主			
大阪西	古賀　伸一	※丹生　昭教	※芝野　博文	
	※清水　美溥			
大阪大淀	岡村　雄二	※島　伸彦		
大阪リバーサイド	徳山　善雄			
大阪西北	※藤井　宏一	※石高　治夫	※岩城　本臣	
	河合　秀行			
	※小林　則夫	※森　恕	※西村　暲	
	※尾下　千明	妙中　茂樹	※田中　潤治	
	※高林　辰行	上田　博司		
大阪梅田	※秋元　延介	※飯田　正夫	小林　博隆	
	※内海閑一郎			
大阪梅田東	Ⓜ後藤　洋治			
大阪	※文箭　安雄	※羽間　平安	※羽鳥　敬彦	
	※稲畑勝太郎	※石川　正	※川島　康生	
	川越　一	岸本　忠三	※絹川　治	
	小泉　隆司	松本　鐵一	※松本　圭史	
	※森下　孝	扇谷　廸宏	薩摩　和男	
	※更家　悠介	※錢高　一善	※田代　和	
	※谷川　正	富田　勇一	山口　集	
	山岡　靖幸	※山田　一郎	※山田　隆三	
	※吉本　仁三	※吉川　邦英		
大阪東	Ⓜ安積　義夫	福家　達二	藤野　洋一	
	※林　恭造	※堀　隆	岩部　博	

表彰

箕面中央　山本　章　増田　俊　大塚英太郎
　Ⓜ川村　智一　Ⓜ上野　弘之　Ⓜ浦川　光雄
　Ⓑ西村　是滋
豊中　関谷　洋子　北村　公一　Ⓜ馬場　一雄
　Ⓜ木村　正治　Ⓜ田中　正一　Ⓑ古澤　照明
豊中南　西口　定雄　天羽　康雄　水野　茂
　Ⓜ榎原　嘉之　Ⓜ北村　恭一　Ⓜ岡本　眞弘
　Ⓜ武田　矩夫　Ⓜ上田　卓也　Ⓜ山本　和市
豊中ー大阪国際空港　花井　英樹　Ⓜ笹部　義平　Ⓜ田中　竹二
豊中千里　角田　眞治　清水　文雄　Ⓜ福田　みほ
茨木　三好千代子　朱　明義　戸川　通夫
　Ⓜ秋山　勤
茨木東　東野　達雄　森　専雅　Ⓜ岡市　正規
　Ⓜ高見　孝　Ⓜ若林　三雄　Ⓜ上原　秀和
　ⓂⒷ阪上　博史
茨木西　中小路悦子　Ⓜ角谷　真枝　Ⓜ小路　三郎
　Ⓜ山本　高司　Ⓜ赤井ムツエ
千里　萬年　成泰　Ⓜ小谷　澄信　Ⓜ川瀬甲子雄
千里メイプル　山田　克子　下川美彌子　Ⓜ中長　伸一
　Ⓜ高尾　修　Ⓜ藤田　芳浩　Ⓜ黒川　彰夫
　Ⓜ水島　洋　Ⓜ山田　克子
摂津　下村　三郎　Ⓜ茶橋　和夫　Ⓜ疋田誠治郎
　Ⓜ三好　一則　Ⓜ辻井　正房
吹田　谷　康司　宮脇　一彦　Ⓜ足立　善信
　Ⓜ石井　博章　Ⓜ井上　義信　Ⓜ紙谷　正行
　Ⓜ中井　健　Ⓜ光吉　聖　Ⓑ柴田　仁
吹田江坂　Ⓜ杉本　全司　Ⓑ八橋　志夫
吹田西　Ⓜ仲辻　章　Ⓜ藤井　清樹
高槻　中島　好信　Ⓜ入野　敏夫　Ⓜ今堀　幸
　Ⓜ津久田康成　Ⓜ岩井　祐造
高槻東　Ⓜ藤田　圭吾　Ⓜ瀧井　理　Ⓑ森山　鐵男
高槻西　Ⓜ和三弘磨呂
大東　小林　誉典　成田　隆志　Ⓜ加藤　敏明
　Ⓜ大川真一郎　Ⓑ田中　祥介
大東中央　長崎　弘芳　Ⓜ市川　貴一　Ⓑ糸川千恵子
門真　越智　貴隆　森本昭一郎　Ⓜ中塚　一郎
交野　Ⓜ平田　至宏　Ⓜ木下　久則　Ⓑ森　光雄
くずは　小林　正彦　三木　彰　森　賢司
　Ⓜ藤原　和彦　Ⓜ駕田　毅　Ⓜ重田　恵年
　Ⓑ田中太一朗
守口　高橋　敏朗　Ⓜ横尾　定美　Ⓜ石井　賢治
　Ⓑ中道　均
守口イブニング　後藤　正伸　Ⓑ中道　孝治
寝屋川　Ⓑ亀井　信昭
四條畷　Ⓜ山口　愛彦
東大阪　松下　一治　竹内　成介　樽本　文男
　Ⓜ三宅　辰一　Ⓜ村岡　万功　Ⓜ富岡　成夫
　Ⓑ坂井　孝彦　向井　伸太　Ⓜ植田　啓司
東大阪中央　松岡　武　Ⓑ渡辺　斌
東大阪東　大橋　秀典　Ⓜ須﨑　洋一　Ⓜ広田　甫
　Ⓜ寺西　太一　Ⓜ常楽寺喜雄　Ⓜ島　顕侑
　Ⓜ川口　淳三
東大阪西　Ⓜ龍田　宇内　Ⓜ松尾　治　Ⓜ髙島　政康
大阪柏原　笠井　靖彦　Ⓜ早川清一郎　Ⓜ壇野　隆一
　Ⓜ石崎　昭　Ⓜ町野　勝康　Ⓑ石崎　昭
八尾　川田　隆　宇野　泰正　Ⓜ原田　正義
　Ⓜ平野大太郎　Ⓜ木村　義一　Ⓜ小山　悦治
　Ⓜ中谷　武男　Ⓜ小川　寛　Ⓜ正野　憲
　Ⓜ高田　吉治　Ⓜ寺坂　哲之　Ⓜ山田　寿三
　Ⓜ吉成　敏行　Ⓜ菅野　茂人　Ⓜ高井　榮彌
　Ⓜ山本　義治
八尾中央　Ⓜ小倉　郁夫　Ⓜ中井　敬和　Ⓑ武田　誠二
八尾東　山田　哲男　Ⓜ楠瀬　允教　Ⓜ森田　時男
　Ⓑ吉川日出子
大阪中央　森脇　寛　Ⓜ村上憲一郎　Ⓜ麦谷　実
　Ⓜ播磨　政明　Ⓜ益田　照夫　Ⓜ田中　久雄
　Ⓜ辻　幸雄
大阪堂島　Ⓜ川本　幹治
大阪北　橋本　崇　兵頭　正信　岩堀　雅彦
　前田　順一　山澤　倶和　Ⓜ荒井敬一郎
　Ⓜ古市　實　Ⓜ橋口文四郎　Ⓜ黒田　恭年
　Ⓜ宮田　宏章　Ⓜ森　輝彦　Ⓜ西村　脩
　Ⓜ樽谷　清孝　Ⓜ宇賀　良太　Ⓜ山本　潤
　ⓂⒷ和中　裕

大阪北梅田　青山　快玄　Ⓜ中神　秀明　Ⓜ秀平　吉朗
　Ⓜ細田喜代司　Ⓜ神田章太郎　Ⓜ木下正二郎
　Ⓜ岸本健之亮　Ⓜ白倉　孝雄　Ⓜ高石　英二
　Ⓜ山田　崇雄　Ⓜ安冨　國詞　Ⓑ出口　敏朗
大阪西　古賀　伸一　西村真一郎　吉川　悦正
　林　邦彦　Ⓑ原田太七郎
大阪大淀　Ⓑ加登　隆三　Ⓜ岡本　政和　Ⓑ遠越　英行
　Ⓑ篠原　良洋　Ⓑ浅井　清彦
大阪リバーサイド　Ⓜ島田　誠二　Ⓜ井上　隆晴　Ⓜ小出　寶一
大阪西北　Ⓜ吉田　育弘　Ⓜ古市　仁　Ⓜ三村　恵造
大阪そねざき　久米川良子　庄田寿美子　寺内俊太郎
　那須　育子　山野　拓也　Ⓜ嶋村美津子
　Ⓜ首藤　忠正　Ⓜ柳田　恒明　Ⓑ山野　拓也
大阪梅田　Ⓑ鈴木　達郎
大阪梅田東　岡村　幸男　Ⓜ小湊　収　Ⓑ後藤　洋治
大阪　扇谷　迪宏　羽鳥　敬彦　岩波　清久
　山岡　靖幸　塩谷　章　Ⓜ山田　隆三
　Ⓜ谷川　正　Ⓜ大坪　清　Ⓜ嘉納　秀一
　Ⓜ吉川　秀隆　Ⓜ上野　昌也　Ⓜ羽間　平安
　Ⓑ能村光太郎
大阪東　石木　章悟　中川　清孝　黒田　知純
　Ⓜ小中　義博　Ⓜ丹羽　一郎　Ⓜ北村　昌幸
　Ⓜ西村　貞一　Ⓑ藤野　洋一　吉永　深
大阪東淀ちゃやまち　Ⓜ佐田　博之
大阪城東　中村　容子　西條　仁久　家原　泰雄
　山本　秀典　Ⓑ谷岡　正夫
大阪中之島　Ⓜ北村　譲　Ⓑ安達　昌弘
大阪大手前　Ⓜ三木　元昭　Ⓜ佐々木　宏
大阪城北　坂口　正雄　寺崎　正也
大阪天満橋　樫木　勇　Ⓜ奥　崇　Ⓜ鍬田　充生
　ⓂⒷ南川　和茂　Ⓑ石田　道夫
大阪鶴見　Ⓜ発　剛士　Ⓑ小山　義之
大阪ー淀川　西川　正一　楠　研二　Ⓜ高地　健
　Ⓑ白方　誠彌
新大阪　浜　博英　Ⓜ吉田　正則　Ⓜ飯原　啓吾
　Ⓜ花原　昭弘
大阪フレンド　奥野冨美子
大阪本町　Ⓜ今岡　真義　Ⓜ首藤　隆平
大阪御堂筋　岩﨑　利晴　脇　隆俊　Ⓜ岩津　陽介
　Ⓜ近藤　貞彦　Ⓑ森　真二　Ⓑ宮武　明彦
大阪南　安田　暎胤　Ⓜ井上　通敏　Ⓜ掛川　雅仁
　Ⓜ髙木　慶一　Ⓜ武田　太郎　Ⓜ細川　益男
　Ⓜ上村　豊　Ⓜ相田　襄治　Ⓜ草島　一
　Ⓜ三原　幸二　Ⓜ永江　薄　Ⓜ鈴木　慶一
　Ⓜ寺崎　泰彦　Ⓜ塚本　邦彦　Ⓜ横尾　国治
　Ⓜ横山順治郎　Ⓑ近藤　浩司
大阪難波　石川　益三　天本　雄二　井上　満昭
　上山　元昭　久保　幸一　徐　正萊
　西原　芳博　Ⓜ本多　純一　Ⓜ入江　実
　Ⓑ樫畑　寛治
大阪なにわ　田中　洋　Ⓜ新子　茂生　Ⓜ辻　壽
　Ⓑ河野　博巳
大阪南西　ⓂⒷ中丸　義昭
大阪船場　Ⓜ樋口　一夫　Ⓜ杉浦　敬久　Ⓜ岩本　浩平
　Ⓑドメニコ・カンタトーレ　Ⓜ鈴木　肇　Ⓑ沖　真一郎
大阪心斎橋　松田　隆光　境　紀世治　Ⓜ平岩　武雄
　Ⓜ神島喜與一　Ⓑ竹馬　忠雄
大阪うつぼ　土井　靖士　市村　孔　岩根和加子
　塩津　正之　Ⓜ遠藤　肇　Ⓜ川橋　豊
　Ⓜ奥山　泰弘
大阪阪南　Ⓑ和田　健
大阪平野　Ⓜ三野　久光　Ⓜ毛利　進　Ⓑ柿野　雅一
　Ⓑ平井　敬子
大阪イブニング　Ⓜ西野　博子　Ⓜ三埜　好
大阪城南　Ⓜ岡倉　三郎　Ⓜ三木　敏裕　Ⓜ梅崎　道夫
　Ⓜ渡邊　邦雄　Ⓑ岡部　泰鑑
大阪咲洲　Ⓜ本多　至成　Ⓜ山本　誠
大阪住之江　Ⓜ前田　春樹
大阪東南　Ⓑ杉浦　勝昭
大阪西南　河村美恵子　Ⓜ藤原　剛　Ⓜ深本　繁雄
　Ⓜ古里　龍一　Ⓜ西村　淳晨　Ⓜ小川　嘉誉
　Ⓜ庄司　信一　ⓂⒷ髙谷　晋介

出席クラブ

池田
池田くれは
箕面
箕面中央
豊中
豊中南
豊中ー大阪国際空港
豊中千里
茨木
茨木東
茨木西
千里
千里メイプル
摂津
吹田
吹田江坂
吹田西
高槻
高槻東
高槻西
大東
大東中央
枚方
くずは
門真
交野
香里園
守口
守口イブニング
寝屋川
四条畷
東大阪
東大阪中央
東大阪東
東大阪みどり
東大阪西
大阪柏原
大阪ネクスト
八尾
八尾中央
八尾東
大阪中央
大阪堂島
大阪北
大阪北梅田
大阪リバーサイド
大阪西
大阪大淀
大阪西北
大阪そねざき
大阪梅田
大阪梅田東
大阪ユニバーサルシティ
大阪
大阪東
大阪東淀ちゃやまち
大阪城東
大阪中之島
大阪大手前
大阪城北
大阪天満橋
大阪鶴見
大阪ー淀川
新大阪
大阪フレンド
大阪本町
大阪御堂筋
大阪南
大阪難波
大阪なにわ
大阪南西
大阪船場
大阪心斎橋
大阪うつぼ
大阪阿倍野
大阪阪南
大阪平野
大阪イブニング
大阪城南
大阪咲洲
大阪住之江
大阪住吉
大阪天王寺
大阪東南
大阪西南

物故会員

在りし日のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます
2008年9月1日～2009年9月30日

榛木　登司雄	大阪東南	2008年 9月 6日	70歳
髙橋　充宏	大阪梅田	2008年 9月 8日	55歳
火伏　義純	東大阪	2008年 9月19日	72歳
味岡　實	東大阪みどり	2008年 9月20日	71歳
松本　良諄	大阪東	2008年10月29日	90歳
国里　宏一郎	茨木東	2008年10月30日	75歳
三好　三郎丸	大阪天満橋	2008年11月 7日	80歳
長野　純二	箕面中央	2008年11月19日	77歳
井原　眞一	大阪中央	2008年12月10日	58歳
楠神　壽	守口	2008年12月13日	86歳
平澤　久夫	大阪北梅田	2008年12月28日	81歳
粉川　憲史	吹田	2008年12月29日	58歳
大畑　齊	東大阪中央	2009年 1月18日	70歳
小松　弘人	大阪城東	2009年 1月22日	70歳
辰野　元彦	大阪東	2009年 1月24日	62歳
神田　充男	大阪城北	2009年 1月24日	83歳
堀川　明	箕面中央	2009年 2月 7日	86歳
須山　知行	守口	2009年 2月17日	92歳
山本　雅之	大阪船場	2009年 3月16日	58歳
奈須　光興	東大阪東	2009年 3月20日	76歳
藤澤　省三	大阪城南	2009年 3月24日	81歳
葛城　健二	大阪南西	2009年 3月30日	75歳
高橋　亜紀央	大阪中央	2009年 4月 5日	67歳
桑田　圭司	大阪堂島	2009年 4月 5日	72歳
泉岡　久夫	大阪城北	2009年 4月 6日	84歳
藤田　義人	大阪中央	2009年 4月19日	87歳
鎌田　武信	大阪	2009年 5月 2日	75歳
河佐　浩	大阪東淀ちゃやまち	2009年 5月 9日	69歳
竹村　明	大阪中央	2009年 6月 8日	78歳
下地　常博	大阪城東	2009年 6月 9日	73歳
木村　哲郎	大阪北	2009年 6月23日	78歳
岩﨑　熙毅	千里	2009年 7月27日	86歳
井上　忠信	大東	2009年 7月30日	76歳
吉村　健	大阪西	2009年 8月 8日	98歳
野入　邦彦	池田くれは	2009年 8月18日	70歳
北浦　信行	高槻東	2009年 8月27日	72歳
芝野　博文	大阪西	2009年 9月 4日	69歳

大会役員・大会委員会

ガバナー	大谷　透
大会委員長	丹羽　健二
大会副委員長	品川　潔
大会幹事	木村　雅彦
大会副幹事	清水　高士
大会SAA	笠井　文雄
大会副SAA	繁野　光一
大会会計	髙澤　俊也
地区代表幹事	四宮　孝郎
地区副代表幹事	上田　直樹
ホストクラブ会長	藤本　和茂
大会アドバイザー	廣瀬　勘一郎

■信任状委員会

委員長	岩田　宙造PG	（大阪南）
委　員	山本　博史	（大阪南）
	矢野　巖	（大阪大淀）
	三木　優	（大阪イブニング）

■決議委員会

委員長	宮田　宏章PG	（大阪北）
委　員	松本　進也	（大阪北）
	川上　善司	（大阪平野）
	坂本　一民	（大阪天満橋）
	安田　嘉雄	（東大阪）

■選挙委員会

委員長	神崎　茂PG	（大阪西）
委　員	畑田　豊	（大阪城南）
	中西　洋介	（大阪西）
	横尾　泰治	（大阪西）

■表彰委員会

委員長	新谷　秀一PG	（池田くれは）
委　員	森　茂寛	（池田くれは）
	新田　耕平	（池田くれは）
	北野　紀之	（池田）

大会実行委員会

大会委員長	丹羽　健二
大会副委員長	品川　　潔
大会幹事	木村　雅彦
大会副幹事	清水　高士
大会SAA	笠井　文雄
大会副SAA	繁野　光一
大会会計	髙澤　俊也
地区代表幹事	四宮　孝郎
地区副代表幹事	上田　直樹
ホストクラブ会長	藤本　和茂
大会アドバイザー	廣瀬勘一郎

■プログラム委員会

委員長	村井　史郎	
副委員長	大川　展功	
委員	藤井　禧進	井上　良昭
	弥谷佐兵衛	小田　眞弘

■登録受付委員会

委員長	阿部　恭三	
副委員長	梅本　禎親	中西　正純
委員	庄司　信一	山本　守昭
	無量井與吉	横井　英朗
	亀井　築美	西村　敏治
	西村　淳晨	秋目　哲郎
	藤田　和美	贄田　淳子

■晩餐会家族のつどい委員会

委員長	山口　一儀	
副委員長	青木　達也	及川　隆明
委員	水谷　　肇	村山　廣甫
	西村　孔邦	髙澤冨士子
	石田　　秀	中山登美子
	八木　洋子	津田　良樹

■分科会委員会

委員長	増田　康次	
副委員長	荻原美津子	田中　徳彦
委員	平田　勝久	露口　佳彦
	池見　敏幸	野崎　弘毅
	佐野　吉延	甲斐　孝則
	田邉　和宏	髙谷　晋介

■会場委員会

委員長	吹田　康雄	
副委員長	松崎　勝司	坂田　大明
	島野　秀行	
委員	田中　康貴	深本　繁雄
	石見　隆夫	西尾　智子
	葉田いつの	油井　　滋
	太田　敏一	山﨑　辰男
	深田　紹雄	八崎　純一

■接待委員会

委員長	古里　龍一	
副委員長	河村美恵子	
委員	田中　穣二	長谷川純二
	毛利　哲三	濱岡　正典
	森下美恵子	

■記録広報委員会

委員長	増田　國次	
副委員長	池田　　煇	
委員	山本　　章	神戸　鐵夫
	大喜多克己	

■表彰委員会

委員長	海堀　常夫	
副委員長	一尾　晋示	
委員	藤原　　剛	志方　邦弘
	佐々木　実	

■救護委員会

委員長	内藤　一馬	
副委員長	小川　嘉誉	
委員	菅澤　龍二	吉川　　守

■総務委員会

委員長	木村　雅彦	
副委員長	清水　高士	
委員	上田　直樹	繁野　光一
	辻　　英明	

収支報告

国際ロータリー第2660地区
2009-2010年度　地区大会　収支計算書

（単位：円）

収入	前年度繰越金		7,833,885
	地区大会資金		19,855,000
	登録料収入		20,295,000
		会員	19,610,000
		家族・他	685,000
	晩餐会登録料		7,620,000
	雑収入		63,000
	合計		55,666,885
支出	オープニングセッション		3,394,299
		会場費	646,684
		制作費	372,750
		出演料	2,309,100
		雑費	65,765
	ウェルカムセレモニーとイルカアコースティックライブ		5,839,573
		会場費	1,507,275
		制作費	1,349,436
		出演料	2,982,862
	友愛の広場・受付・ゲート		2,020,725
		会場費	190,575
		制作費	1,622,250
		雑費	207,900
	晩餐会		8,590,413
		会場費	177,870
		料理関係	6,746,875
		制作費	665,668
		演出・出演料	1,000,000
	本会議		14,995,832
		会場費	2,768,060
		制作費	10,198,650
		出演料	2,029,122
	お茶席		880,767
		制作費	880,767
	接待		1,404,149
	登録受付		474,600
	広報		275,600
	記録広報誌		3,800,000
	表彰		253,580
	総務		5,832,090
		印刷費	2,917,265
		人件費	1,844,288
		会議費雑費	1,070,537
	次年度繰越金		7,905,257
	合計		55,666,885

次年度繰越金7,905,257円は地区特別会計に戻し入れする。

以上の通り相違ありません。
平成22年6月7日

国際ロータリー第2660地区
2009－2010年度地区大会実行委員会

大会委員長

丹羽　健二

大会幹事

木村　雅彦

大阪西南ロータリークラブ会長

藤本　和茂

大会会計

高澤　俊也

監査報告

左記決算書について関係帳簿類と照合し
監査の結果、正確かつ適正であることを
認めます。
平成22年6月7日

次年度地区財務委員長
八尾ロータリークラブ

田中　昌之